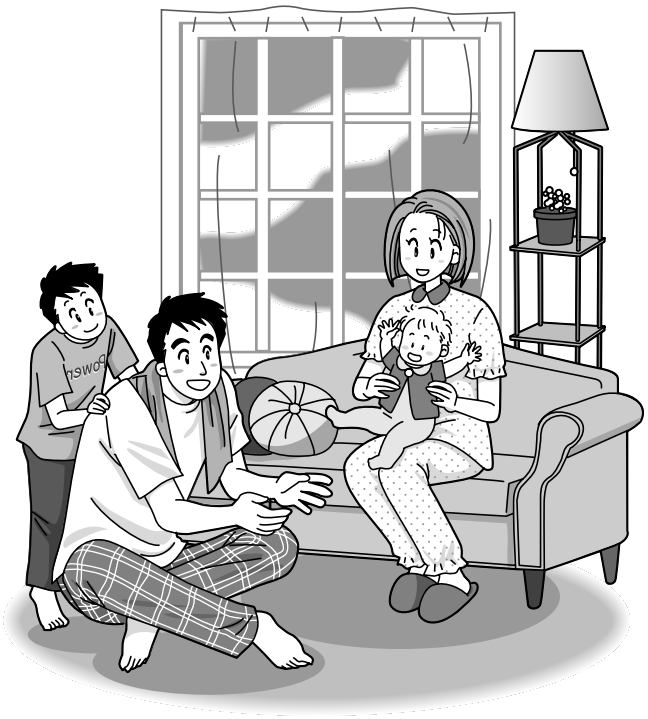
MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機 ダイヤホット

時間帯別電灯通電制御型

形名 SRT-HP711
（ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット）
※リモコンは別売です。
【台所リモコン（形名：RMC-711K）、浴室リモコン（形名：RMC-711B）】

取扱説明書



この給湯機は、通電制御型なので申請によって料金割引きが適用されます。ご不明な場合は、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書、据付工事説明書（チェックリストが入っています。）、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- この給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書などを次の所有者の方へ渡してください。

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

もくじ

ページ

ご使用の前に

主な使いかた …… 2
安全のために必ずお守りください …… 4
ご使用にあたってのお願い …… 7
各部のなまえ
- 台所リモコン …… 8
- 浴室リモコン …… 9
- ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット … 10

準備 …… 11
- 時刻を合わせる …… 12
- 電力契約モードを選ぶ …… 13
- 運転モードと沸き上げ温度を決める … 14
- 音声やメロディの音量を調節する … 15

蛇口のお湯を使う

蛇口に行くお湯の温度を決める …… 16
一時的にたくさんのお湯を使う（強制沸増） … 17

おふろに入る

おふろにお湯を入れる（ふろ自動運転） … 18
入浴中にできること
- お湯の温度を上げる（高温さし湯） …… 22
- お湯をたす（たし湯） …… 22
- お湯の温度を下げる（さし水） …… 22
- 人を呼ぶ（呼出） …… 22

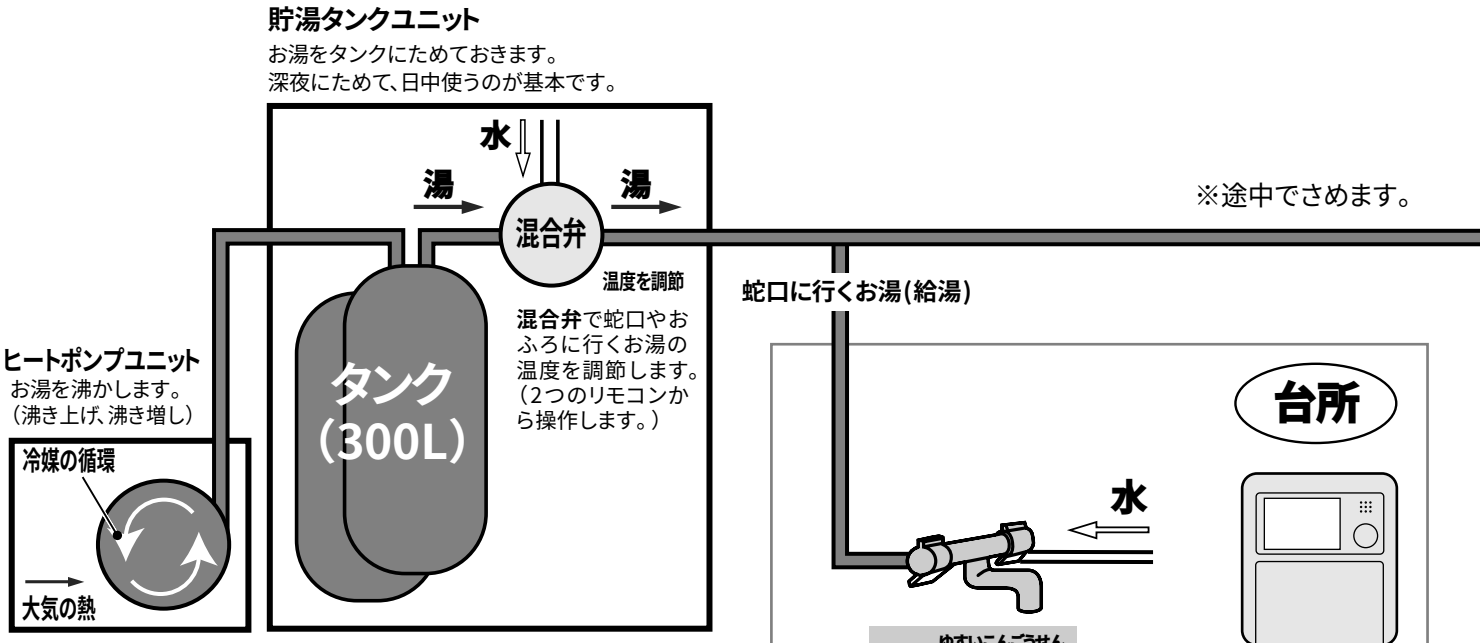
きめた時間にお湯を入れる（ふろ自動予約） … 23

こんなとき

数日間 お湯を使用しないとき …… 24
長期間 使用しないとき …… 25
災害時などにお湯を取り出す …… 26
凍結防止をする …… 27
定期点検（有料） …… 27
日常点検とお手入れ …… 28
停電したときなど …… 30
故障かな？ …… 31
アフターサービス …… 34
仕様 …… 裏表紙

主な使いかた

家の中の蛇口からお湯を使うだけでなく、便利なふろ自動運転もあります。
安心して使うために「自動制御」や「優先権」があります。
より経済的にお湯を沸かす工夫もできます。



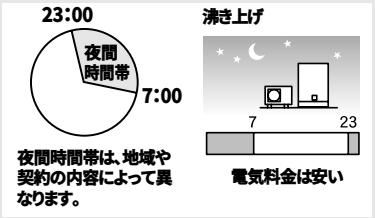
ヒートポンプとは

エアコンと同じように、大気の熱を冷媒に集め、お湯を沸かすしくみです。

自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機は、従来のヒーター式電気温水器よりも効率が高く経済的です。（エネルギー消費は1／3）
冷媒はオゾン層を破壊するフロンでなく、自然冷媒（CO_2）なので環境配慮型です。

経済的にお湯を沸かしましょう

給湯機は、電気代の安い**夜間時間帯にお湯を沸かして（沸き上げ）、タンクにため**ておき、昼間に使うのが基本です。



1.「電力契約モード」を選ぶ

契約により時間帯と料金が異なりますので、契約に合わせて**「電力契約モード」**を選んでください。（→13ページ）

2.「沸き増し」の設定を選べます

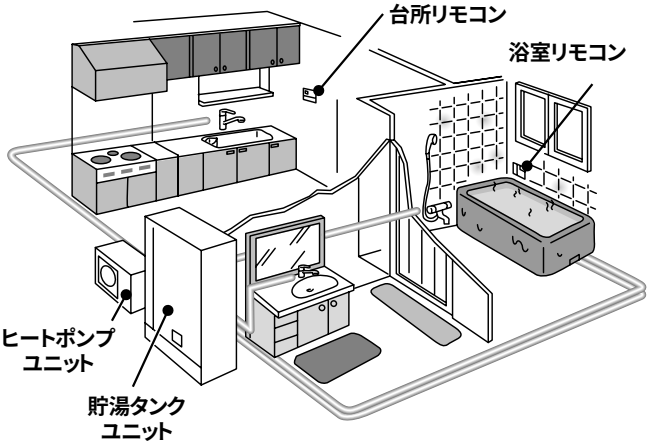
お湯がたりなくなったら、夜間時間帯でなくても随時お湯を沸かすことを**「沸き増し」**といいます。この沸き増しの設定を選ぶことができます。（**「運転モード」**の設定→14ページ…基本は**「おまかせ」**でOK）
一時的にお湯がたくさん必要になったら、**「強制沸増」**を使いましょう。（→17ページ）

3.「沸き上げ温度」も変えられます

ヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度をお好みに調節することもできます（**「沸き上げ湯温」**の設定→14ページ）

安心その1「自動制御」

蛇口に行くお湯（台所・浴室など）と**おふろに行くお湯（浴槽）**は同じ管を通ります。蛇口とおふろを**同時に使うとき**には、予期しない熱いお湯（や冷たい水）が出ないように**自動制御しています。**（詳しくは→33ページ）



給湯機の主な機能

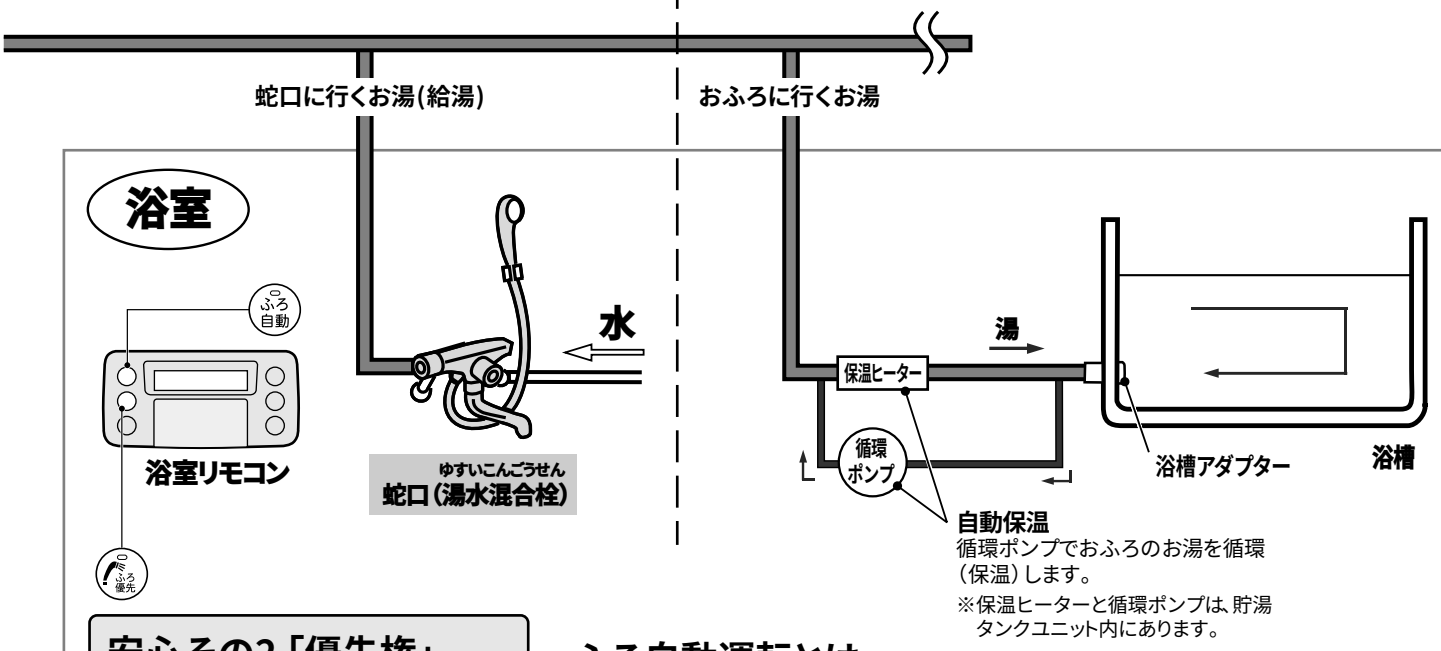
●蛇口でお湯を使えます

● 蛇口（湯水混合栓）に行くお湯の温度（給湯湯温）を決められます。（→16ページ）

●おふろ（浴槽）へもお湯が行きます

● おふろを自動ではり、保温・たし湯します。（ふろ自動→18ページ）

● 「足し湯」「高温さし湯」「さし水」ができます。（→22ページ）

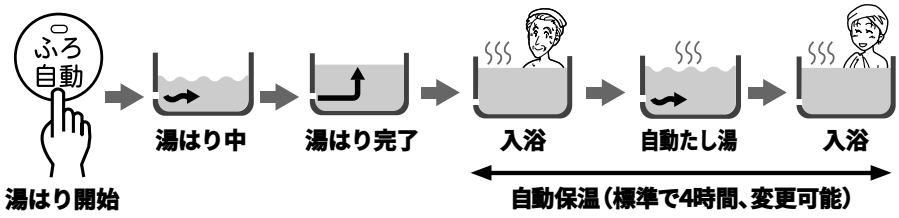


安心その2「優先権」

浴室でシャワーをあびるとき、台所でお湯の温度を変えると、やけどなどの危険があります。
浴室リモコンで**「ふろ優先」**スイッチを押してください。**「優先権」**が浴室リモコンに与えられ、台所リモコンでは温度が変えられなくなります。(→16ページ)

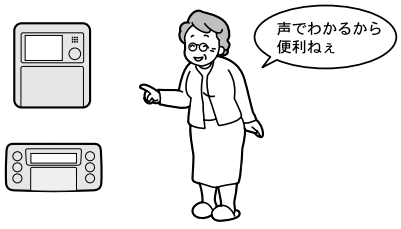
ふろ自動運転とは・・・

● 「ふろ自動」スイッチを押すだけでお湯をはります。（予約もできます。→23ページ）
● そのまま、お湯の温度やお湯の量を保ちます。（標準で4時間、変更可能→21ページ）



声でお知らせの親切リモコン

見やすい表示部とともに、声でお知らせしますので、使いやすさが一段とアップ。うっかりミスも防止できます。



パワフル高圧力型

この給湯機は高圧力型なので、シャワーも気持ちいいほどパワフルで湯はり時間も短縮できます。また、2階にも給湯できます。

万一のとき水が使えます

断水時や地震などの万一の災害時は、タンクのお湯（水）を**生活用水**として利用できます。（→26ページ）

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止		アース線接続	
分解禁止		指示にしたがう	
接触禁止			

（ヒートポンプユニットの表示）

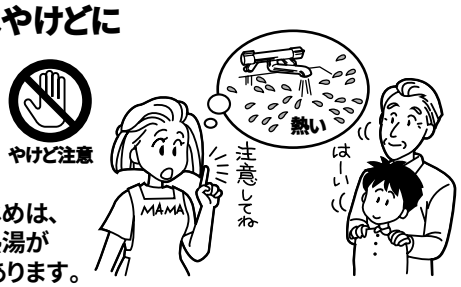
感電注意		発火注意	
高温注意		回転物注意	

⚠ 警告

給湯時は湯水混合栓（→2ページ）に手を触れない

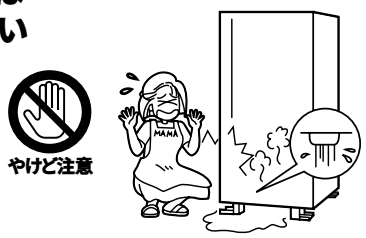
やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに注意する



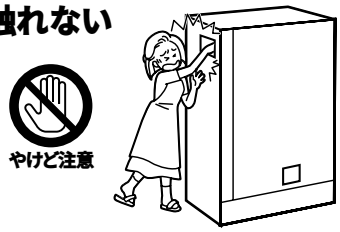
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

排水時（→25ページ）はお湯に手を触れない



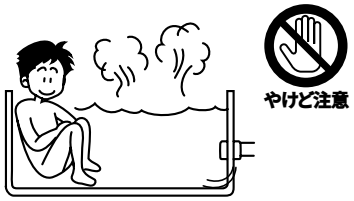
やけどをすることがあります。

逃し弁点検時（→28ページ）は内部の配管に手を触れない



やけどをすることがあります。

高温さし湯を使用するときは、浴槽アダプターから離れる（→22ページ）

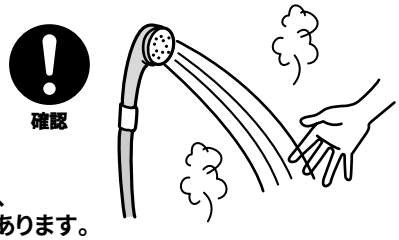


やけどをすることがあります。

浴槽にお湯がないときは、高温さし湯スイッチを押さない（→22ページ）

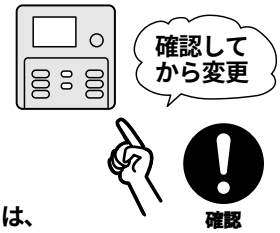
やけどをすることがあります。
浴槽にお湯がないときも、高温さし湯スイッチを押すと浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。浴槽や浴槽アダプターのお手入れを行うときは特に注意してください。

シャワー使用時や入浴時は、湯温を指先等で確認する



湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

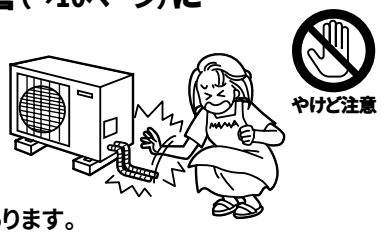
給湯湯温の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う（→16ページ）



やけどをすることがあります。
浴室でシャワーを使用しているときは、給湯湯温の変更をしないでください。

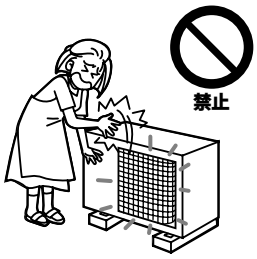
⚠ 警告

ヒートポンプ配管(→10ページ)に手を触れない



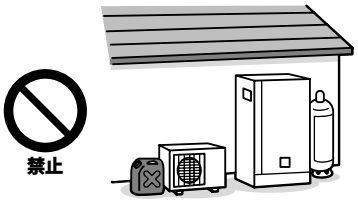
やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットのフィンに触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない(→10ページ)



けがをすることがあります。

近くにガス類や引火物を置かない



発火・火災になることがあります。

異常時は、漏電遮断器の電源レバー(→28ページ)を下げて電源を「切」にし、お買上げの販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

側面カバーを開けない(→10ページ)

開けると、
感電することがあります。

改造をしない

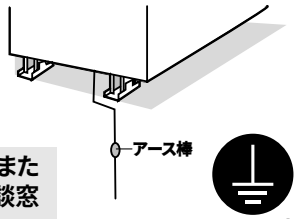
(修理技術者以外の人は分解・修理をしない)

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

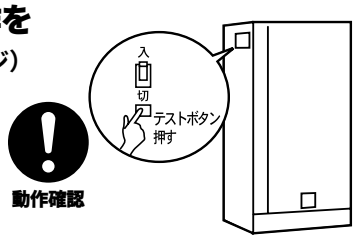
アース工事を確認する

工事に不備があると、
故障や漏電のときに
感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」へお問合せください。



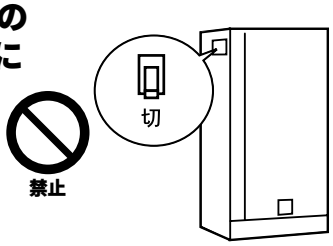
漏電遮断器の動作を確認する(→28ページ)



故障のまま使用すると、
感電することがあります。

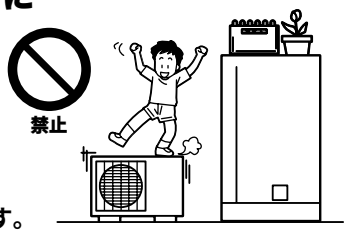
⚠ 注意

冬季は、漏電遮断器の電源レバーを「切」にしない



配管が凍結し、
水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない



事故・やけどの原因になります。

安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠ 注意

そのまま飲用しない

禁止

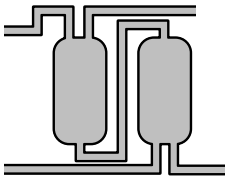
長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

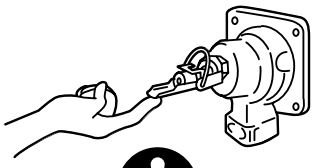
機器を満水にしてから電源を入れる（→11ページ）

満水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。



逃し弁の点検をする（→28ページ）

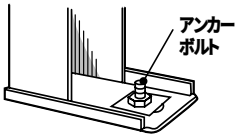


点検

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

貯湯タンクユニットの脚（4カ所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認



固定されていないと、地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。

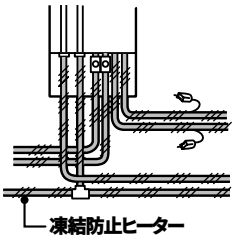
ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

禁止

ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする（→27ページ）

確認



凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

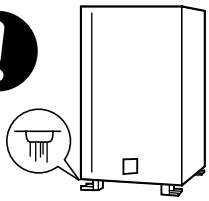
確認

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

タンクの熱湯を直接排水しない（→25ページ）

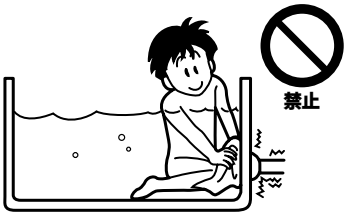
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

1カ月以上使用しないとき（→25ページ）は、機器の排水をする



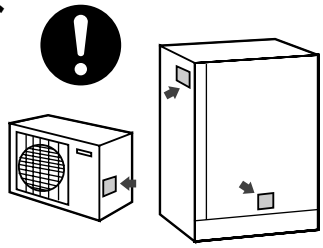
排水しないと水質が変化することがあります。

浴槽アダプターをふさがない



配管が故障し、水漏れすることがあります。

操作カバー・操作窓は閉じる



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- **シャワーは止めながら**（髪を洗っているときは止めましょう。）

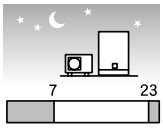
- **洗いものをするときも止めながら**

流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

夜間時間帯の入浴について

この給湯機は、夜間時間帯（リモコンに「沸増し中」が表示されているとき）にお湯を沸かしますので、夜間時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増しを行い電気代が高くなる場合があります。
（運転モードを「深夜のみ」でご使用のときは、満タンまでお湯が沸かない場合があります。）

夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。



電気料金が安い夜間時間帯にお湯を沸かします。

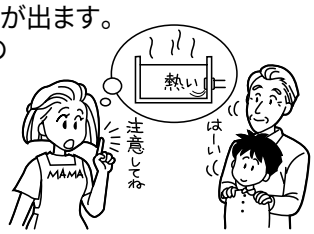
リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。
（→12ページ）

時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

「高温さし湯」についてのお願い

高温さし湯（→22ページ）を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯（約60℃）が出ます。
お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。

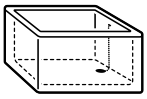


安全のため、高温さし湯スイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

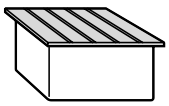
湯はりをするときのお願い

湯はりをする（→19ページ）ときは、次のことをご確認ください。

- **浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる**



- **浴槽のふたをする**



「ふろ自動予約（→23ページ）」を行うときも同様です。

入浴剤を使うときのお願い

〈避けて頂きたい入浴剤〉

循環ポンプの不具合や配管等の金属腐食の原因になります。

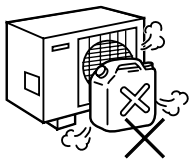
- **炭酸ガスにより発泡させるもの**
- **硫黄成分が含まれるもの**
- **炭酸カルシウムを含むもの（濁り湯状にさせるもの）**

〈推奨品〉…「バスクリン」（ツムラ）、「春夏秋冬」（積水化学工業）、「薬用入浴剤・旅の宿」（カネボウ）

機器周辺部の点検

- **積雪時は機器の周囲を除雪してください。**
（誤動作や故障の原因）

- **ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は、取り除いてください。**
（性能低下や故障の原因）



機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となります。

- **最低気温が-10℃以下となる場所**
- **浴槽と同一屋内（貯湯タンクユニットのみ）**
- **屋内（ヒートポンプユニットのみ）**
- **水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所**
- **階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所**
- **塩害地**　　**冠水する場所**

ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）に設置されている場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

各部のなまえ（リモコン）

台所リモコン（RMC-711K）

表示部

スピーカー

ふろ自動スイッチ

設定された湯温・水位で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。
（→20ページ）

運転モード切替スイッチ

運転モードを「おまかせ」「満タン」「深夜のみ」のいずれかに設定します。（→14ページ）

時刻設定スイッチ

時計合わせ用スイッチです。
「ふろ自動予約」時にも使用します。
（→12、23ページ）

強制沸増スイッチ

タンクのお湯が50L減ると、自動的に満タンまで沸き上げます。
（23時になると自動的に解除されます。）
（→17ページ）

ふろ予約スイッチ

設定した時刻に湯はりが完了します。
（→23ページ）

休止スイッチ

数日間お湯を使用しないとき、休止日数（最大15日間）を指定して沸き上げを停止できます。
（→24ページ）

音量スイッチ

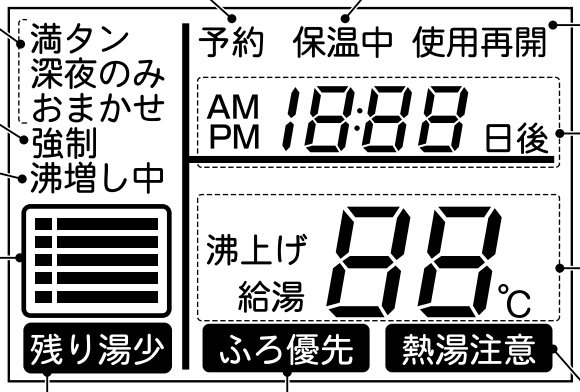
「音声によるお知らせ」の音量を設定します。（→15ページ）

給湯温度設定スイッチ

蛇口やシャワーなどの給湯温度を設定します。（→16ページ）
［35℃～50℃（1℃刻み）／60℃］

リモコンの表示部

（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）



運転モード表示
現在の運転モードが表示されます。

予約表示
ふろ自動予約設定中に表示されます。

保温中表示
ふろ自動運転中に表示されます。

強制沸増表示
強制沸増を設定すると表示されます。

沸増し中表示
沸き上げ中や沸き増し中に表示されます。

残湯量表示

表示	貯湯量（目安）	ブザー
	250L以上	—
	200L以上	—
	150L以上	—
	100L以上	—
	50L以上	—
残り湯少 点灯	50L未満	あり
残り湯少 点滅	20L未満	あり

使用再開表示
休止設定中に沸き上げ休止日数とともに表示されます。

時刻、使用再開日表示
通常は現在時刻が表示されます。
休止設定中は使用再開までの日数が表示されます。

給湯温度/沸き上げ温度表示
通常は給湯温度が表示されています。
運転モード切替スイッチを押したときは沸き上げ温度を「AU」「H I」「LO」で表示します。

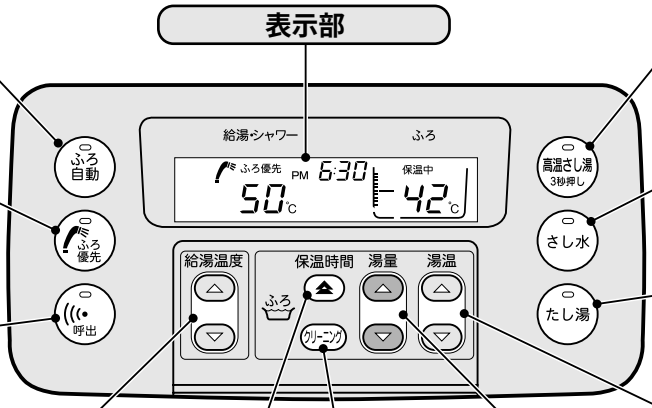
残り湯少表示
50L未満で点灯します。
20L未満で点滅します。

ふろ優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

熱湯注意表示
給湯温度が60℃に設定されているときに表示されます。

お願い 台所リモコンは防水タイプではありません。
水をかけないでください。故障の原因になります。

浴室リモコン(RMC-711B)



ふろ自動スイッチ
設定された湯温・水位で湯はりし、自動で保温とたし湯をします。(→20ページ)

ふろ優先スイッチ
リモコンの優先権を切り替えます。(→16ページ)

呼出スイッチ
スイッチを押すと、メロディと音声が台所リモコンから流れ、呼び出していることをお知らせします。(→22ページ)

表示部

高温さし湯スイッチ
高温のお湯(60℃)をさし湯して、湯温を約2℃上げます。(→16ページ)

さし水スイッチ
さし水をして湯温を約1℃下げます。(→22ページ)

たし湯スイッチ
設定温度のお湯を20Lたし湯します。(→22ページ)

ふろ湯温設定スイッチ
浴槽の湯はり温度を設定します。[35℃～48℃(1℃刻み)](→19ページ)

給湯温度設定スイッチ
蛇口やシャワーなどの給湯温度を設定します。[35℃～50℃(1℃刻み)／60℃](→16ページ)

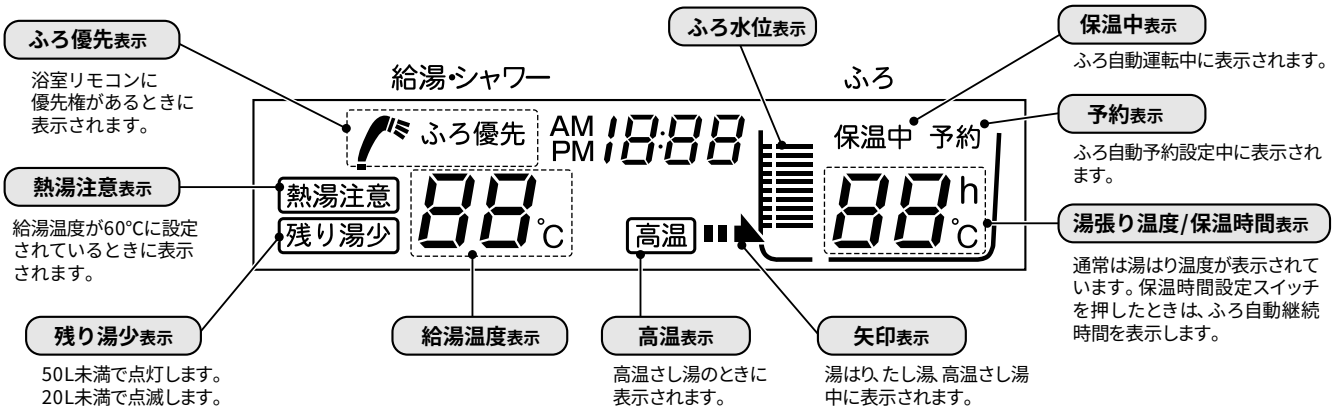
保温時間設定スイッチ
ふろ自動運転の継続時間を変更します。[0～10時間](→21ページ)

クリーニングスイッチ
ふろ配管に水を流し、配管を洗浄します。(→21ページ)

ふろ湯量設定スイッチ
浴槽の湯はり水位を設定します。(→19ページ)

リモコンの表示部

(説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。)



ふろ優先表示
浴室リモコンに優先権があるときに表示されます。

熱湯注意表示
給湯温度が60℃に設定されているときに表示されます。

残り湯少表示
50L未満で点灯します。20L未満で点滅します。

給湯温度表示

ふろ水位表示

高温表示
高温さし湯のときに表示されます。

矢印表示
湯はり、たし湯、高温さし湯中に表示されます。

保温中表示
ふろ自動運転中に表示されます。

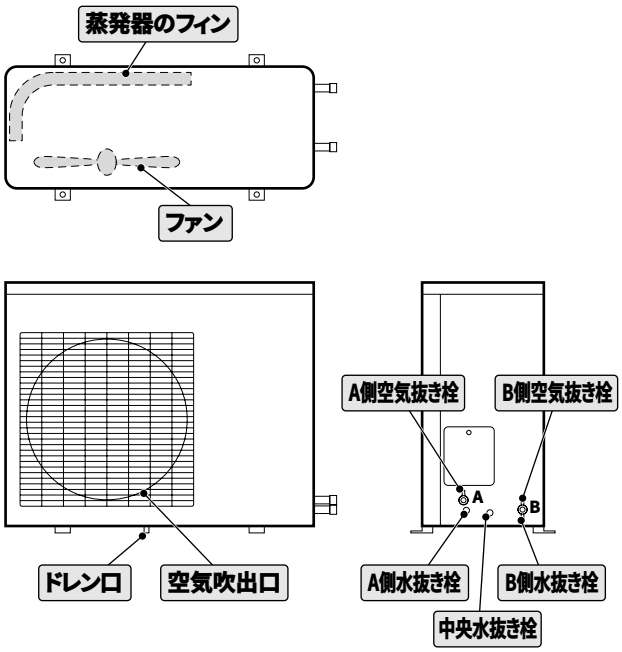
予約表示
ふろ自動予約設定中に表示されます。

湯張り温度/保温時間表示
通常は湯はり温度が表示されています。保温時間設定スイッチを押したときは、ふろ自動継続時間を表示します。

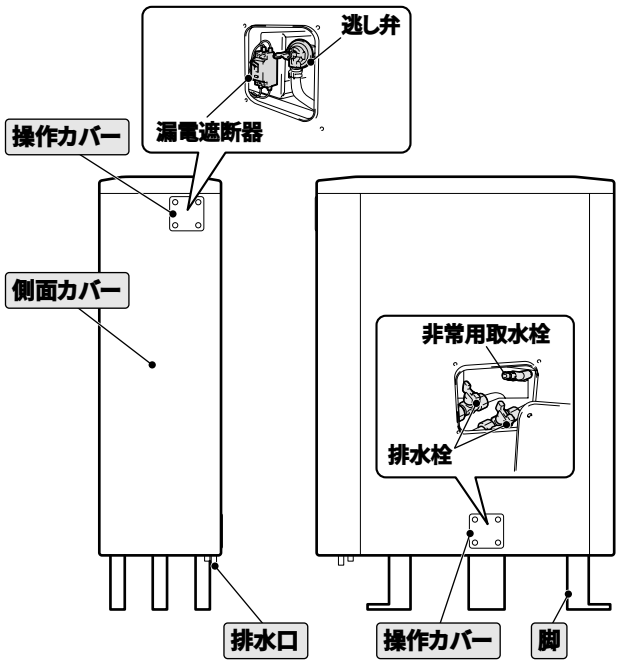
お願い 浴室リモコンは防水タイプですが、なるべく水をかけないでください。故障の原因になります。

各部のなまえ（ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット）

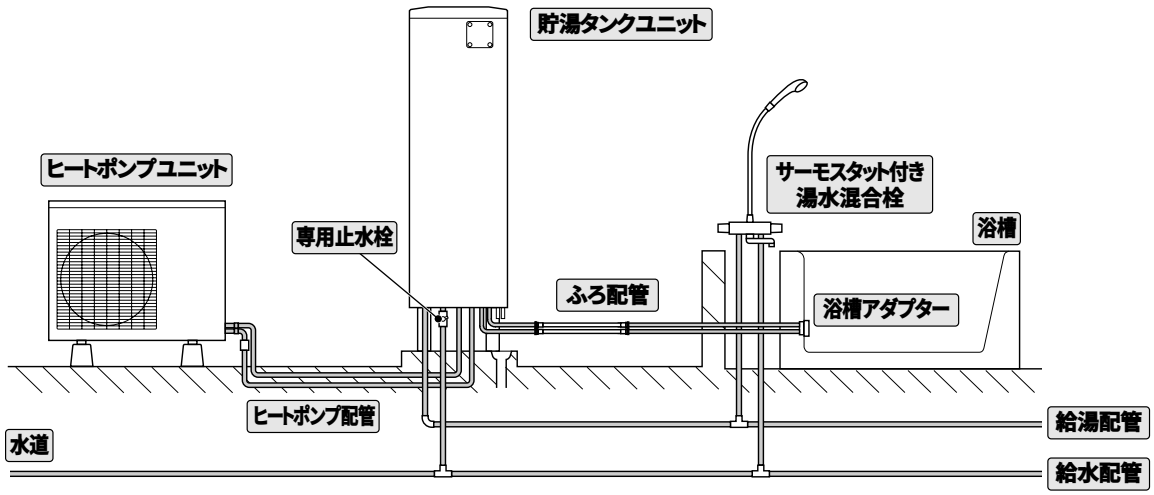
ヒートポンプユニット



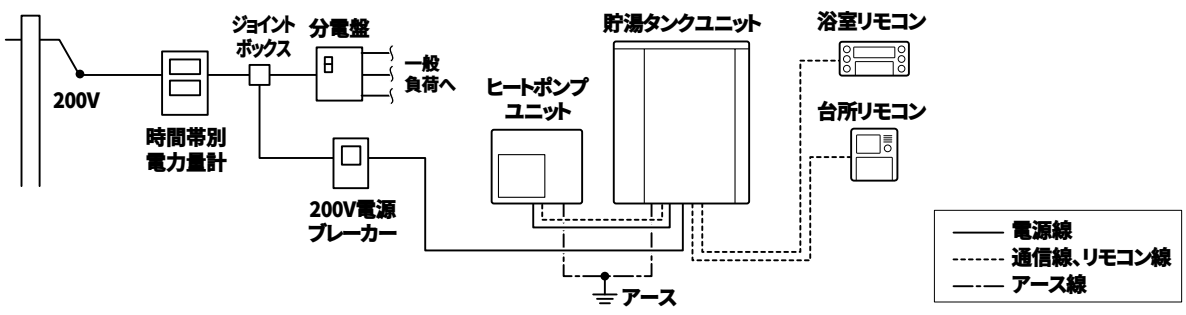
貯湯タンクユニット



配管例

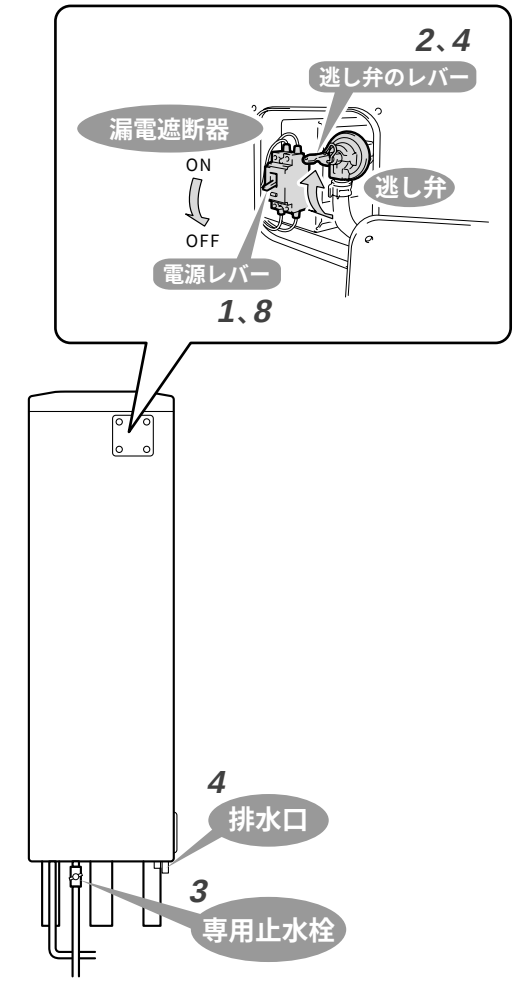


配線例（時間帯別電灯契約専用）

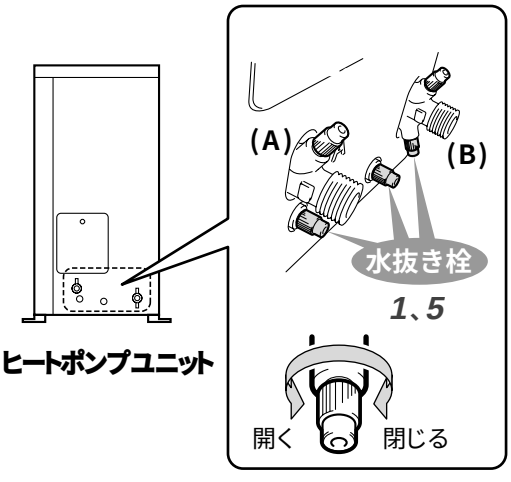


準備

使い始めは、次の手順でお湯を沸かす準備をしてください。



貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット

⚠注意

機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れる（故障の原因）

〈貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にする〉

1 以下のことを確認する

①貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーが「切（OFF）」になっていることを確認する
（「入（ON）」の場合は「切（OFF）」にしてください。）

②ヒートポンプユニットの水抜き栓が閉じていることを確認する（開いている場合は閉じてください。）

2 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる

3 専用止水栓を開く

貯湯タンクユニットへ給水します。

4 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる

- タンクが満水になると排水口から水がでます。
  満水までの目安は約30分です。

5 ヒートポンプユニットの水抜き栓を開く

①A側水抜き栓を開き、勢いよく水が出たら閉じる
②中央水抜き栓を開き、勢いよく水が出たら閉じる
③B側水抜き栓を開き、勢いよく水が出たら閉じる

6 湯水混合栓（→2ページ）をお湯側にして開き、水が出ることを確認する

〈電源を入れる〉

7 200V電源ブレーカーを「入」にする（→10ページ）

8 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「入（ON）」にする

〈台所リモコンで時刻などを設定する〉

9 台所リモコンで以下の設定を行う

①時刻を合わせる（→12ページ）
②電力契約モードを選ぶ（→13ページ）
③運転モードと沸き上げ温度を決める（→14ページ）
④音声やメロディの音量を調節する（→15ページ）

〈準備が終わったら〉

10 お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。

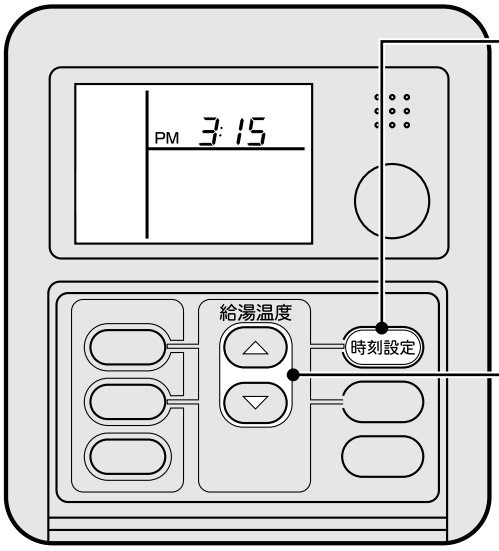
時刻を合わせる

給湯機を使うためには、まず時刻を合わせてください。

時刻を設定しないと、「沸き上げできない」場合があります。

設定時刻がずれていたり、午前（AM）と午後（PM）を間違えたりすると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。

台所リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 時刻設定 を押す

「時側」が点滅します。

2 △ ▽ を押し、「時側」を合わせる

△を押すと1時間ずつ、表示部の数字が進みます。

▽を押すと1時間ずつ、表示部の数字が戻ります。

（押し続けると、連続してかわります。）

3 時刻設定 を押す

例:PM（午後）3時

「時側」が設定され、「分側」が点滅します。

4 △ ▽ を押し、「分側」を合わせる

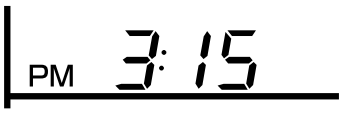
△を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

▽を押すと1分間ずつ、表示部の数字が戻ります。

（押し続けると、連続してかわります。）

5 時刻設定 を押す

例:PM（午後）3時15分



設定完了です。

浴室リモコンには、自動的に設定した時刻が表示されます。

お知らせ

- 時刻は12時間表示です。昼の12時は「PM12:00」を、夜の12時は「AM12:00」を表示します。

お願い

- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

- 約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「PM12:00」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。

電力契約モードを選ぶ

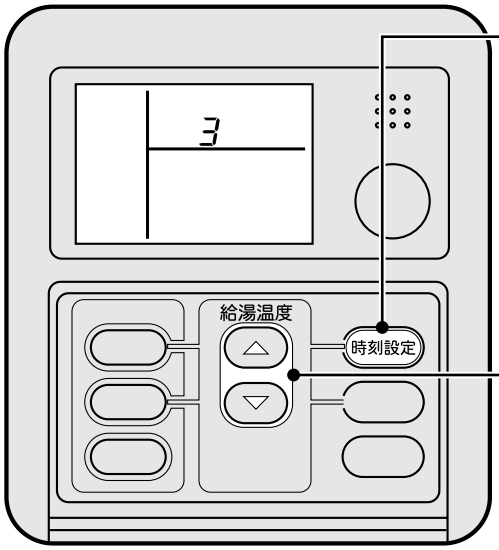
時間帯別電灯契約の種類によって、夜間時間帯や安価な時間帯が異なります。
電気料金を抑えるため、ご使用の契約に合う電力契約モードを選んでください。

電力契約モードの内容（平成13年6月現在）

※表示6～9は表示3と同じ内容となります。

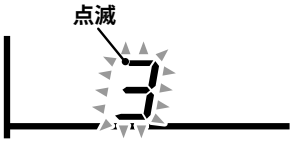
契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。

台所リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 時刻設定 を5秒以上押す



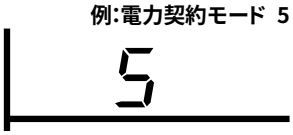
電力契約モード表示になります。

2 ▲ ▼ を押し、電力契約モードを選ぶ

▲ ▼ を押すごとに表示が切り替わります。

3 時刻設定 を押す

例:電力契約モード 5



設定完了です。

時刻表示に戻ります。

お知らせ
- 手順2で10秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されている電力契約モードで設定されます。

運転モードと沸き上げ温度を決める

「運転モード」とは、夜に沸き上げてためておくお湯の量と、湯切れ防止のための沸き増しのしかたを決めるモードです。通常は、「おまかせ」でご使用ください。

「沸き上げ温度」には「AU（オートモード）」「HI（ハイモード）」「LO（ローモード）」があります。

運転モードの内容

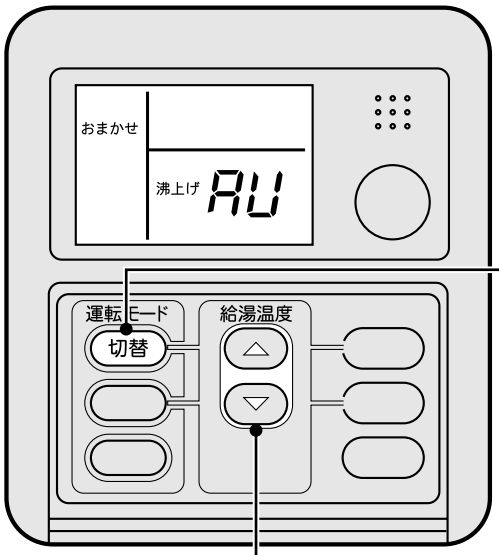
	おまかせ	満タン	深夜のみ
	過去1週間の使用湯量から最適な沸き上げ湯量を決めるモードです。	**大量にお湯を使うときのモードです。**	**電気代の安い夜間時間帯のみ沸き上げる節約用のモードです。**
湯切れ防止（沸き増し）	**自動で沸き増し:有り** 通常は、湯切れしません。 おすすめのモードです。	**自動で沸き増し:有り** 湯切れの心配が少なくなります。	**自動で沸き増し:無し** 湯切れの心配があります。
電気代	**ムダに沸かすことが少ないので合理的です。**	**昼間でも沸かすことが多いので割高です。**	**昼間は沸かさないので、電気代はもっとも安くなります。**
設定可能な沸き上げ温度	AU	AU、HI	AU、HI、LO

お知らせ

- 「おまかせ」を設定すると湯切れを防止するために、夜間時間帯以外にも自動的に次の沸き上げを行います。
  - ・1日当り300L以下の使用量の場合→貯湯ユニットタンク内のお湯が最低貯湯量※を下回ると、50L沸き増します。
  - ・1日当り300L以上の使用量の場合→貯湯ユニットタンク内のお湯が200Lを下回ると、必要湯量まで沸き増します。
  - ・夕方の時点で、必要湯量（学習値）と貯湯量を比較し不足がある場合→必要湯量まで沸き増します。

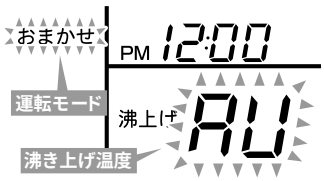
  ※最低貯湯量とは常に確保している貯湯量のことで、マイコンが毎日の貯湯量をモニターし、50L、100L、150Lの範囲で自動的に切り替わります。
- 運転モード「満タン」は、設定してから1週間経過すると、その内容のまま自動的に運転モード「おまかせ」へ変更されます。

台所リモコン



必要な箇所を
表示してあります。

1 運転モード 切替 **を押す**



設定されている運転モードと沸き上げ温度が表示（点滅）されます。

2 運転モード 切替 **を押し、運転モードを設定する**

切替 を押すごとに運転モードが切り替わります。

おまかせ → 満タン → 深夜のみ

3 ▲ ▼ **を押し、沸き上げ温度を設定する**

▲ ▼ を押すごとに沸き上げ温度が切り替わります。

AU ⇔ HI ⇔ LO

4 **約5秒後に設定は完了となります。**

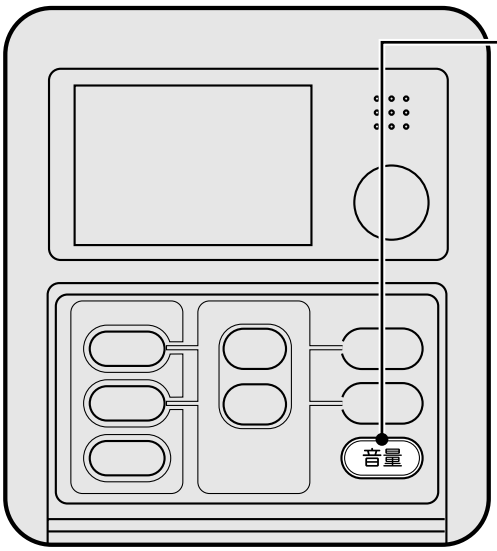
沸き上げ温度の目安

AU	冬期:約65～90℃ 夏期:約65～75℃
HI	約75～90℃
LO	約65℃（固定）

音声やメロディの音量を調整する

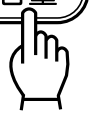
台所リモコンの、音声・メロディーの音量をお好みに合わせて調整できます。

台所リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 音量 **を押し、音量を調整する**



音量 **を押すごとに音量がかわり、確認ブザーが鳴ります。**

“大” → “中” → “小” → 無音

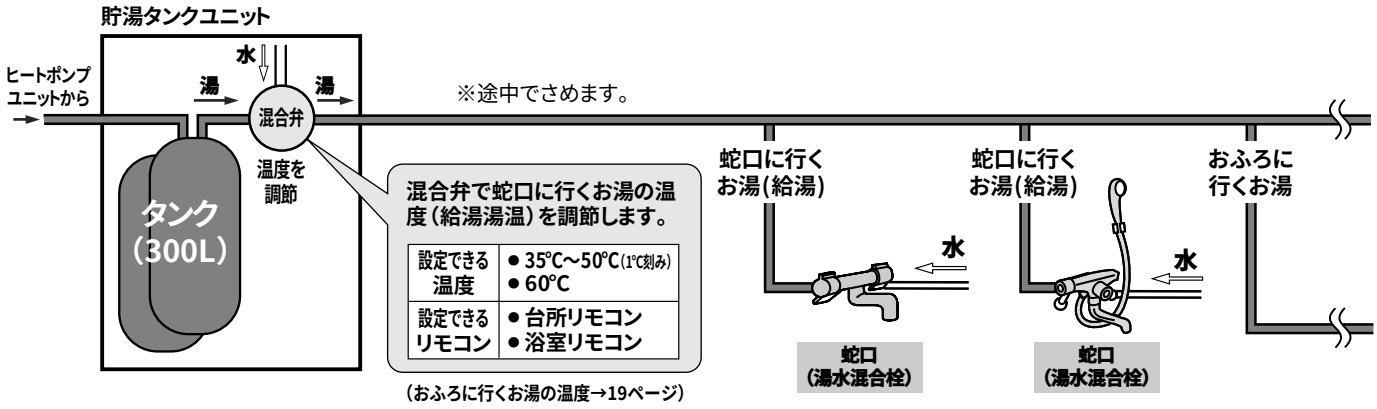
お買上げ時の設定	…中
設定できる範囲	…大／中／小／無音

お知らせ

- ブザーの音量や浴室リモコンからの呼出音量は調整できません。

蛇口に行くお湯の温度を決める

家の中の蛇口（台所、洗面所、シャワーなど）に行くお湯の温度（給湯湯温）を決めます。



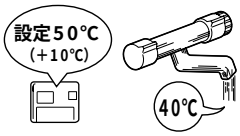
お知らせ

- 使用する蛇口によっては、給湯量が少なくなることがあります。その場合は給湯湯温の設定を60℃にしてご使用ください。
- 蛇口から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。

お願い

- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯湯温の設定を使用するお湯の温度より約10℃以上高く設定してください。

例）40℃で使用する場合は50℃に設定します。



リモコンの操作方法

台所リモコン、浴室リモコンのうち、「優先権」のあるリモコンで蛇口へ行くお湯の温度をかえます。

1 「優先権」を持つリモコンを切り替える（お買上げ時は、台所リモコンに「優先権」があります。）

浴室リモコンの

を押す

押すごとに優先権が移ります。

優先権の確認方法

	浴室リモコン表示		台所リモコン表示
優先権が浴室リモコンにあるとき	〈点灯〉 ふろ優先	〈点灯〉 ふろ優先	〈点灯〉 ふろ優先
優先権が台所リモコンにあるとき	〈消灯〉 ふろ優先	〈消灯〉	〈消灯〉

2 優先権のあるリモコンの

給湯温度

を押して
温度を設定する

△を押すと温度が高くなります。

▽を押すと温度が低くなります。

お買上げ時は…42℃
設定できる温度は …35℃～50℃／60℃

⚠警告

給湯湯温を変更すると、すべてのお湯の温度（シャワーなど）が変わります。他の人が使っていないか十分に注意してください。（やけどの原因）

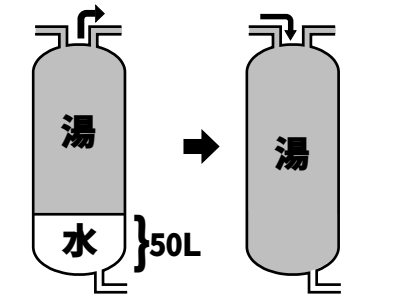
お知らせ

- 給湯温度を60℃に設定すると、音声案内とともに「熱湯注意」が表示されます。
- 優先権のないリモコンで操作した場合は、警告音が鳴り、温度設定できません。
- 給湯とふろ湯はりまたは、ふろたし湯を同時に行なったときは、給湯温度表示が「ーー」となり給湯温度がふろ湯はり中またはたし湯中の温度と同じになります。（→33ページ）

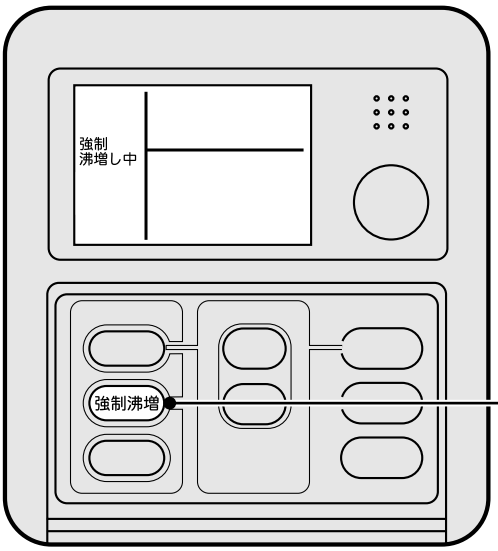
一時的に たくさんのお湯を使う（強制沸増）

「強制沸増」とは、タンクのお湯が50L減ると自動的に満タン（300L）まで沸き上げ、タンク内をお湯でいっぱいにしておく機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。
設定したその日（7:00～23:00）は何回でもタンク全体の沸き増しを行います。（23時になると自動的に解除）

強制沸増のしくみ

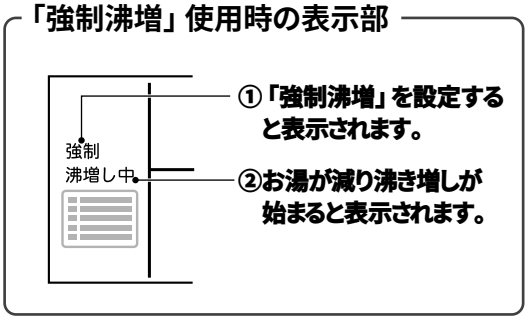


台所リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 強制沸増 を押す



解除するとき … もう一度 強制沸増 を押す

お知らせ

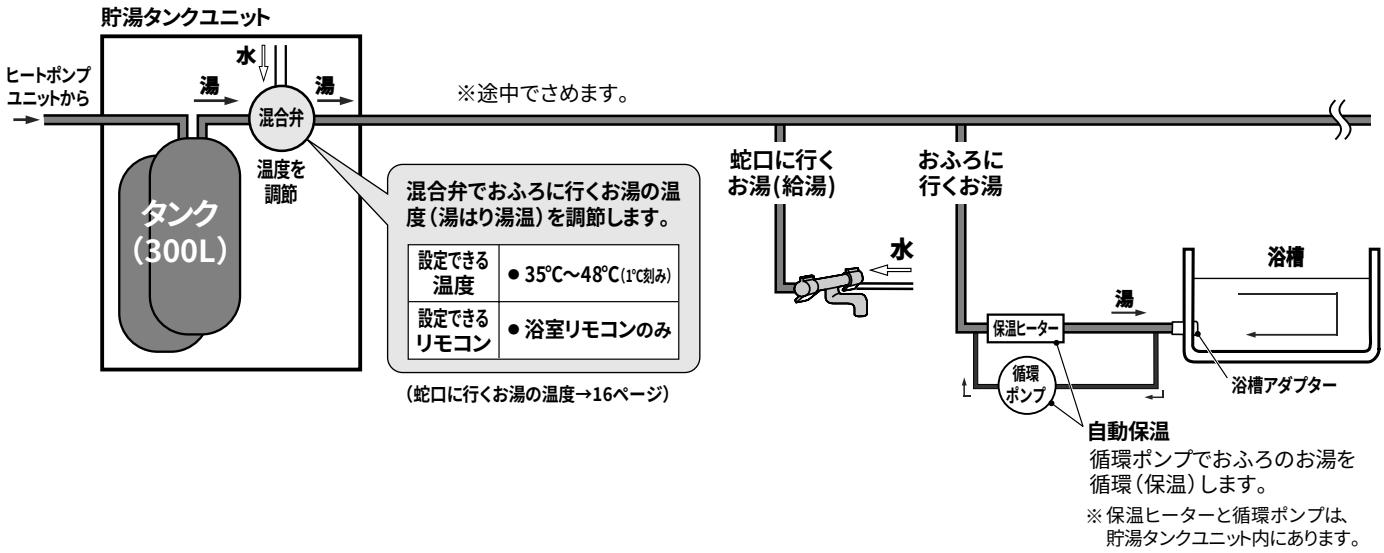
- 「強制沸増」は、昼間電力でタンク内を沸き上げるので電気料金は割高になります。（→2ページ）
- 「強制沸増」を使用しているときは、運転モード（→14ページ）の設定はできません。
- 「強制沸増」を解除しても、残湯量が少ないときはすぐに「沸増し中」表示が消えない場合があります。これは、湯切れ防止のために沸き増しをしているからです。（→14ページ　「おまかせ」「満タン」のとき）

おふろにお湯を入れる（ふろ自動運転）

この給湯機は、おふろに **ワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）** でお湯を入れて使います。

おふろにお湯が入り終わると、**おふろの温度とお湯の量を保つ運転** が始まります。（→20ページ）

※なお、ふろ予約機能もあります。（→23ページ）



ワンタッチの自動運転（ふろ自動運転）の内容

- **ワンタッチで自動的に湯はりできます。**
- **湯はりが終わったあと、決められた時間、自動的におふろの湯量を一定に保ち（自動たし湯）、温度も一定に保とうとする（自動保温）運転のことです。**

自動保温について

- **しくみ…「保温ヒーター」と「循環ポンプ」で**湯温を保とうとします。
- **能力** …冷めたお湯をわき上げる能力はありません。

おふろにお湯を入れるときのお願い

おふろにお湯を入れるときは、次のことをお守りください。水位や温度がばらつく原因になります。

「ふろ湯量」を設定するとき（→19ページ）

- **最初は、浴槽に対して少なめに設定する（多すぎるとお湯があふれる場合があります。）**

湯はりをする前

- **浴槽に水が残った状態で、湯はりを始めない**
- **貯湯量を確保してから湯はりを行う**

「残り湯少」が表示されているときは湯はりできません。「強制沸増（→17ページ）」を使用し、貯湯量を確保してからご使用ください。

湯はり中

- **ふろ自動スイッチを入り切りしない**
- **蛇口からお湯をたさない**
- **湯はりが完了する前におふろに入らない**

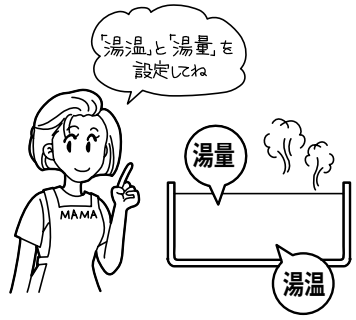
お知らせ

- 湯はり中に湯はりを中断してポンプが動作することがありますが故障ではありません。ふろ自動ランプが点滅していれば正常です。
- ふろ自動運転は設定した時間が経過すると自動的に解除されます。そのとき「ふろ自動」スイッチをもう一度押すと、ふろ自動運転が延長になります。
- 湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使うと湯はりの時間が長くなります。また、他の水栓の使用量が多く湯はり用に十分な流量が確保できないときは、湯はりが自動的に停止することがあります。（流量が確保できれば自動的に湯はりを再開します。）

スタート

つづく

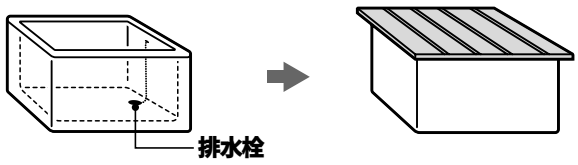
① 入れるお湯の量と温度を決める



最初の数回は、ご家庭のおふろにあわせる設定をしてください。適切な量と温度が決まれば、その後はワンタッチでお湯を入れることができます。

② 浴槽に水がないことを確認する

残水を排水して排水栓を閉じる　　**浴槽にふたをする**



浴槽内に残水がある場合は、水位や湯温がばらつき、お湯があふれることがあります。

おふろに入れるお湯の量と温度を決める

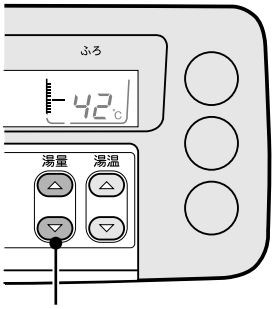
（適切な量と温度が決まれば、次回から1と2の操作は不要となります。）

1 ご家庭のおふろにあわせて、入れるお湯の量を設定する

浴室リモコンでふろ湯量設定スイッチを押し、「湯はり湯量」を設定する

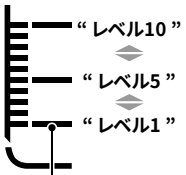
△を押すと1レベルずつ、湯はり湯量は多くなります。
▽を押すと1レベルずつ、湯はり湯量は少なくなります。

浴室リモコン



ふろ湯量設定スイッチ

〈表示部〉



湯はりレベル

1レベルあたり、約3cm水位がかわります。

お買上げ時は　…レベル5（目安：浴槽アダプターの中心から約25cm）※
設定できる湯量の範囲は…レベル1〜レベル10

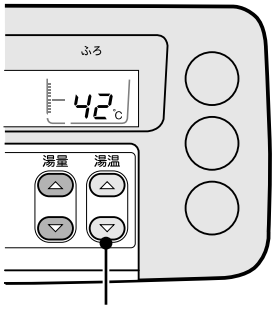
※配管や浴槽の形状でかわります。

2 「湯はり湯温」を設定する

浴室リモコンでふろ湯温設定スイッチを押し、「湯はり湯温」を設定する

△を押すと1℃ずつ、湯はり湯温は高くなります。
▽を押すと1℃ずつ、湯はり湯温は低くなります。

浴室リモコン



ふろ湯温設定スイッチ

〈表示部〉

湯はり湯温

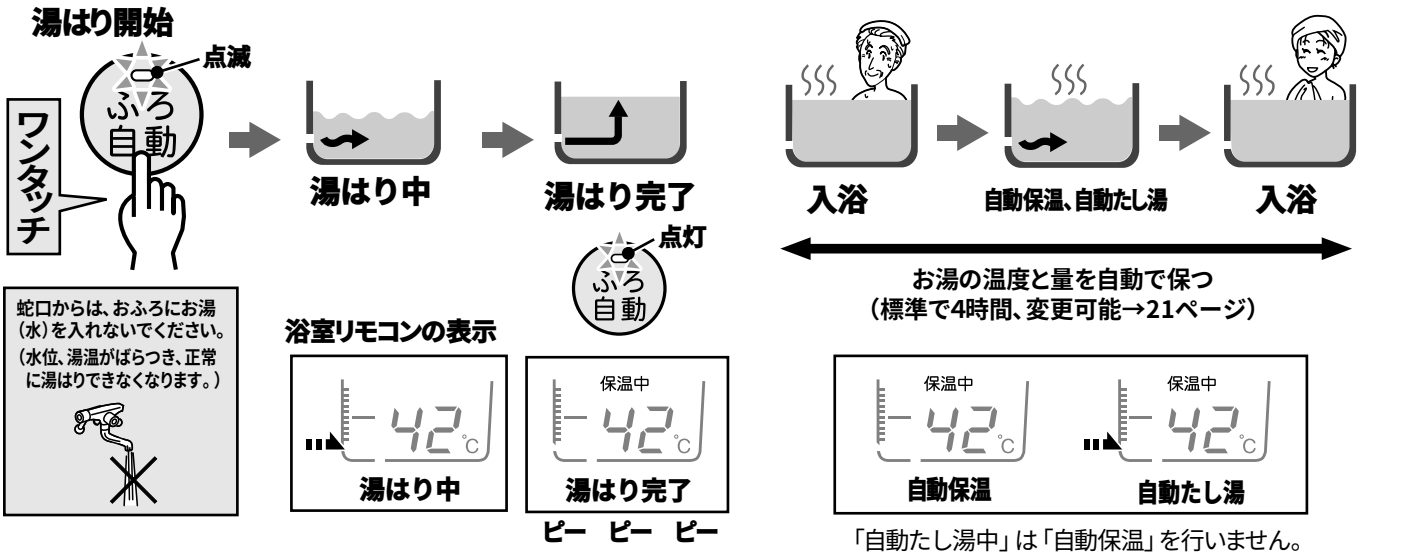
リモコンに表示される温度は、目安温度です（湯はり湯温）。浴槽内の湯温は、配管や浴槽に熱をうばわれるため、それよりも少し下がることがあります。

お買上げ時は　…42℃
設定できる湯温の範囲は…35℃〜48℃（1℃刻み）

おふろにお湯を入れる（つづき）

③ 自動でおふろにお湯を入れる（湯はりをする）　④ お湯の温度と量を自動で保つ

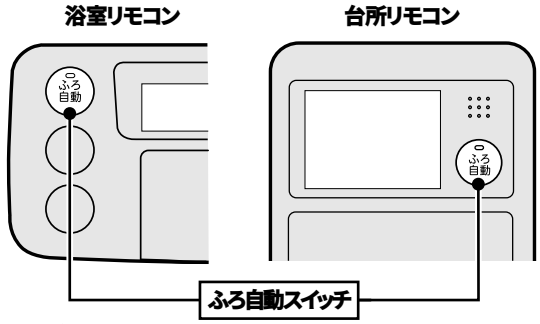
ふろ自動運転



「自動たし湯中」は「自動保温」を行いません。

自動でおふろにお湯を入れる

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの**「ふろ自動」スイッチを押す**



を押す

途中でやめるとき

もう一度 ふろ自動 を押す

2 湯はりが終わったら両方のリモコンから**ブザーと音声でお知らせします。**

（ふろ自動ランプは点滅から点灯にかわります。）

その後、設定された時間の間、「自動たし湯」で湯量を保ち、「自動保温」が働きます。

入浴中にできること （使い方→22ページ）

おふろに入っているときには、次のことができます。

- **お湯の温度を上げる（熱いお湯が入る）…「高温さし湯」**
- **お湯をたす（同じ温度のお湯が入る）……「たし湯」**
- **お湯の温度を下げる（水が入る）……「さし水」**
- **人を呼ぶ（台所リモコンをならす）……「呼出」**

お願い **ジェットバスをお使いのお客さまへ**

- ふろ自動を使用する場合は、ジェットバスのスイッチを切ってください。ふろ自動運転が誤動作する場合があります。

湯はり時間の目安

湯はり湯温42℃、湯はりレベル5の場合

おふろが1階のとき	おふろが2階のとき
約15～20分	約25～30分

※配管施工上の条件や水源水圧、浴槽の形状、蛇口などの使用状況により、多少ばらつくことがあります。

入浴が終わったら、

⑤ ふろ自動を切って、排水する

ふろ自動を切る※
（ランプが消えます。）

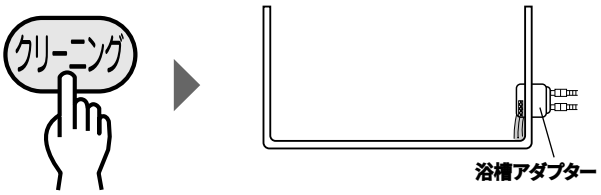
排水する

「ふろ自動運転」を「切」にして、栓を抜き、排水します。
ふろ自動運転中に排水すると、C01エラー（→31ページ）が表示されます。

※ふろ自動ランプが消灯している場合、すでにふろ自動運転は「切」になっていますのでこの操作は必要ありません。

⑥ 排水後、「クリーニング」をする

クリーニングとは、ふろ配管に水を流して配管内に滞留している浴水を流し出す機能です。



約20Lの水が浴槽アダプターから出て、自動で停止します。

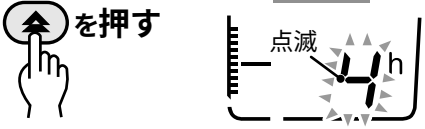
途中でやめるとき…もう一度 クリーニング を押す

お知らせ
- クリーニング中に蛇口やシャワーでお湯を使用すると、クリーニングは待機状態となります。（給湯栓が閉じられると、自動的に再開します。）

ふろ自動運転の継続時間を変更できます

ご家族の人数や入浴状況に合わせて、継続時間を設定できます。
（ふろ自動運転中に継続時間の変更はできません。湯はりを行う前に変更してください。）

1 保温時間 **を押す**



現在設定されている時間が表示（点滅）されます。

2 保温時間 **を押して時間を設定する**

を押すごとに表示が切り替わります。

0 → 1 → 2 → 3 →… 10

3 **約5秒後に設定は完了となります。**

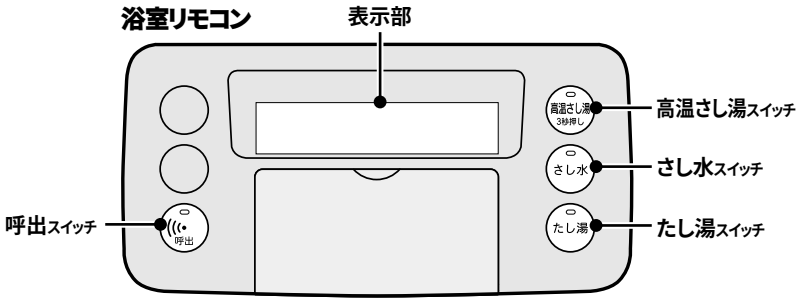
お買上げ時は　…4時間〈表示:4〉
設定できる時間は…0※～10時間（1時間刻み） **※0時間…自動保温、自動たし湯を行わない場合に設定します。**

お知らせ
- 次回から変更した設定になります。
- 設定を変更したときは、変更後の設定が継続されます。

入浴中にできること

おふろに入っているときには、次のことができます。

- **お湯の温度を上げる（熱いお湯が入る）…「高温さし湯」**
- **お湯をたす（同じ温度のお湯が入る）……「たし湯」**
- **お湯の温度を下げる（水が入る）……「さし水」**
- **人を呼ぶ（台所リモコンをならす）……「呼出」**



お知らせ

- 給湯中（蛇口やシャワーでお湯を使用しているとき）は「高温さし湯」「さし水」は使用できません。また、「高温さし湯中」「さし水中」に蛇口でお湯を使うと、ランプが点灯から点滅にかわり、待機状態となります。給湯栓が閉じられると、自動的に再開します。（自動制御機能→33ページ）
- 湯はり中やクリーニング中は「高温さし湯」「さし水」「たし湯」は使用できません。
- 「残り湯少」が表示されているときは「高温さし湯」「たし湯」は使用できません。「強制沸増（→17ページ）」を使用し、貯湯量を確保してから再度ご使用ください。

お湯の温度を上げる（高温さし湯）

お湯の温度を上げたいときに押します。おふろの温度を、約2℃上げるために必要な熱いお湯（60℃）が浴槽アダプターから浴槽に入ります。（最大で60L、自動で停止）

を3秒以上押す

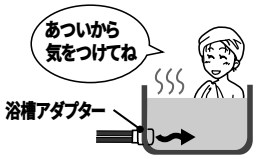
（**押したときに「ピッ」と鳴りますが3秒以上押さないと動作しません。**）

〈表示部〉

途中でやめるとき…もう一度 高温さし湯 3秒押し **を押す**

⚠警告

高温さし湯をするときは、浴槽アダプターから離れる
（やけどの原因）



お知らせ

- 貯湯タンクユニット内の湯温が60℃以下のときは、高温さし湯の温度は60℃以下となります。（この場合、表示部の高温表示も点灯しません。）

お湯をたす（たし湯）

お湯をたしたいときに押します。
湯はりをするときに設定した温度のお湯（約20L）が浴槽アダプターから浴槽に入ります。（自動で停止）

を押す

〈表示部〉

途中でやめるとき…もう一度 たし湯 **を押す**

お湯の温度を下げる（さし水）

お湯の温度を下げたいときに押します。
おふろの温度を、約1℃下げるために必要な水が浴槽アダプターから浴槽に入ります。（最大で60L、自動で停止）

を押す

途中でやめるとき…もう一度 さし水 **を押す**

人を呼ぶ（呼出）

呼出スイッチを押すと、台所リモコンのスピーカーから呼び出しをお知らせします。

を押す

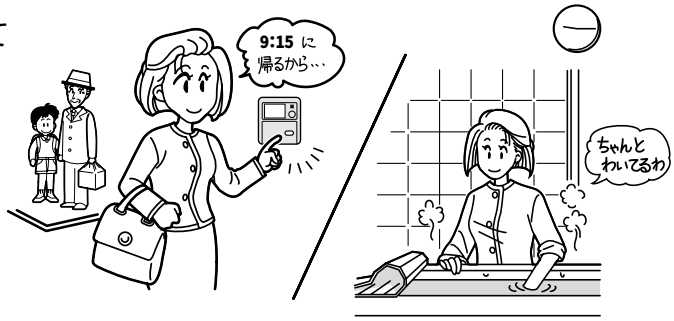
- **約10秒間、お知らせします。途中で取り消しはできません。**
- **呼出音声の調節はできません。**

きめた時間にお湯を入れる（ふろ自動予約）

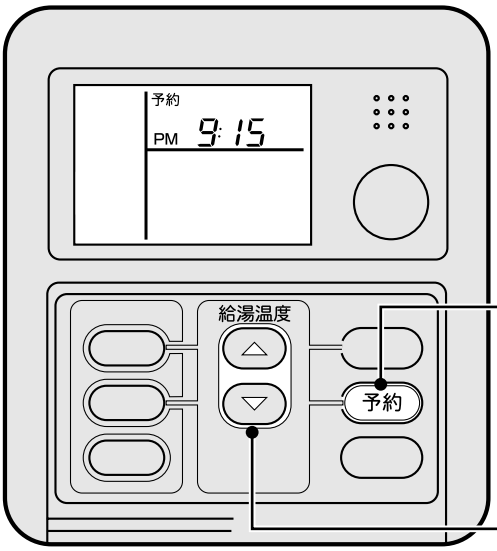
あらかじめきめておいた時間におふろにお湯がたまって「ふろ自動運転」になるようにする機能です。

予約設定時刻は記憶されますので、同じ時刻に予約するときは時刻を再設定する必要はありません。

台所リモコンで予約します。



台所リモコン



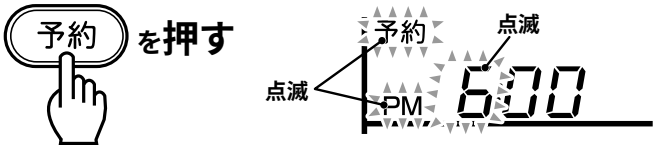
必要な箇所を表示してあります。

1 おふろのお湯の量と温度を決める（→19ページ）

2 浴槽を確認する（→19ページ）

①残水を排水して排水栓を閉じる
②浴槽にふたをする

3 予約 を押す

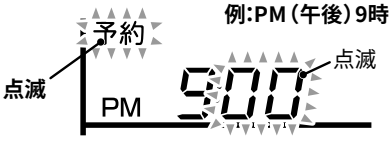


「予約」「時側」が点滅し、**予約モード**になります。

4 ▲ ▼ を押し、「時側」を合わせる

▲を押すと1時間ずつ、表示部の数字が進みます。
▼を押すと1時間ずつ、表示部の数字が戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

5 予約 を押す

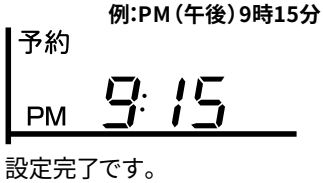


「時側」が設定され、「分側」が点滅します。

6 ▲ ▼ を押し、「分側」を合わせる

▲を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。
▼を押すと1分間ずつ、表示部の数字が戻ります。
（押し続けると、連続してかわります。）

7 予約 を押す



設定完了です。

約3秒間表示後、現在時刻表示にかわります。浴室リモコンにも「予約」の文字が表示されます。

解除するとき … もう一度 予約 を押す

（「予約」表示が消え、現在時刻表示になります。）

お願い

- 手順4で予約時間を合わせるとき、午前（AM）と午後（PM）を確認してください。（昼の12時は「PM12:00」、夜の12時は「AM12:00」です。）
- 湯はり予約は、湯はり完了時刻の1時間以上前に予約してください。1時間以内に予約した場合は予約した時刻に湯はりが完了しない場合があります。

お知らせ

- 予約操作の途中に10秒間以上スイッチが押されないと、途中の時刻が予約時刻となりますので、予約操作をやり直してください。
- 現在時刻が合っていないと、予約した時刻に湯はりは完了しません。
- 水源水圧の変動などにより、湯はり完了時刻が予約した時間よりずれることがあります。
- 湯はり予約は、湯はり動作が開始すると自動的に解除されますので、その都度、予約操作を行なってください。
- 湯はり予約中に「ふろ自動」「高温さし湯」「さし水」「たし湯」スイッチを押すと、予約は解除されます。
- 湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、予定した時刻に湯はりが完了しないときがあります。

数日間 お湯を使用しないとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ、沸き上げを停止させることができます。

お買上げ時の設定	**…なし（0日）**
設定できる範囲	**…0日～15日（1日刻み）**

1カ月以上使用しない場合は、25ページの方法で停止してください。

沸き上げ休止日数の決めかた

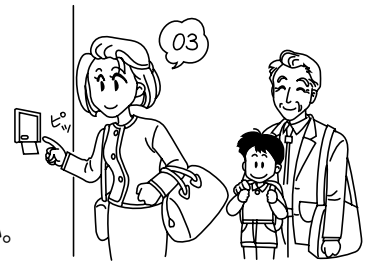
例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

出発日（10月１日）に停止日数「 03 」を設定

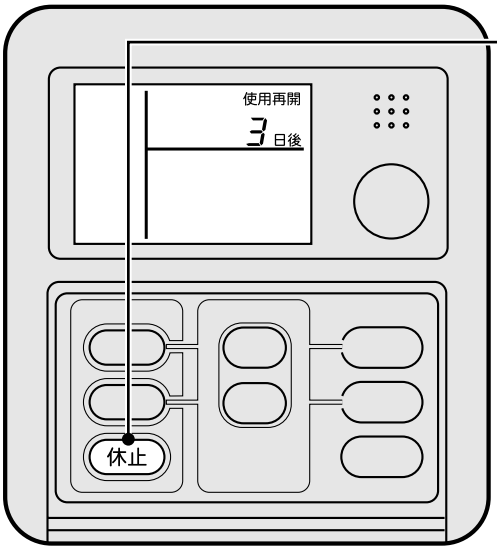
（1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。）
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

〈予定日より早く帰宅した場合〉

お湯が必要な場合は、休止日数を解除し、「強制沸増」（→17ページ）を使用してください。



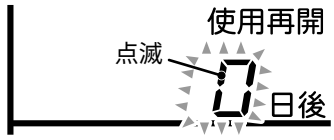
台所リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 休止 を押す

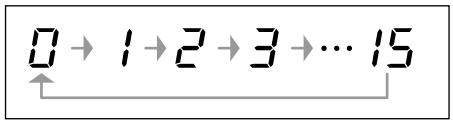
〈表示部〉



時刻表示から**使用再開日日数表示**にかわり、数字が点滅します。

2 休止 を押し、日数を設定する

休止 **を押すごとに表示部の停止日数が進みます。**



3 約5秒後に設定は完了となります。

解除するとき … 休止 **を押す**

（表示が「0」になります。）

お願い
- 漏電遮断器の電源レバーは「切（OFF）」にしないでください。凍結のおそれがある気温になるとヒートポンプユニットが自動的に運転し、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。

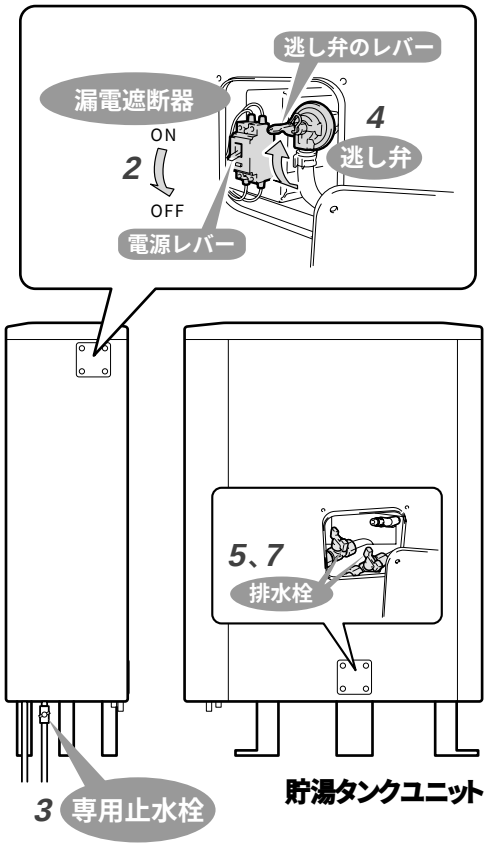
お知らせ
- 休止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。

長期間 使用しないとき

1カ月以上 使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。

⚠注意

● 1カ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く （水質変化の原因）



1 **タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**

（熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。）

2 **貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切（OFF）」にする**

電気の供給を停止します。

3 **専用止水栓を閉じる**

貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

4 **貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる**

タンクへ空気を取り入れます。

5 **貯湯タンクユニットの排水栓（2ヵ所）を開く**

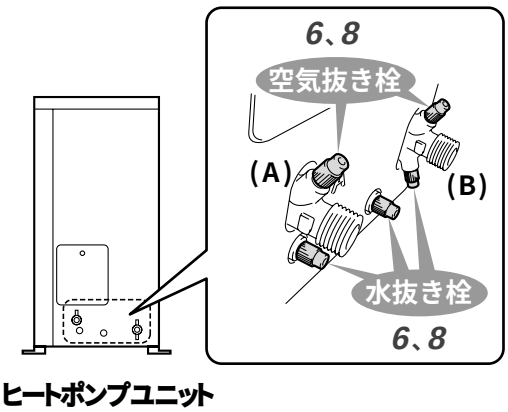
水が抜けるまでに約30分かかります。

6 **ヒートポンプユニットの水抜き栓（3ヵ所）、空気抜き栓（2ヵ所）を開く**

内部に残っている水を抜きます。

⚠警告

排水時は、やけどに注意する



ヒートポンプユニット

〈排水が終わったら〉

7 **貯湯タンクユニットの排水栓（2ヵ所）を閉じる**

8 **ヒートポンプユニットの水抜き栓（3ヵ所）、空気抜き栓（2ヵ所）を閉じる**

再び使用するとき

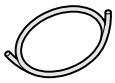
排水栓、水抜き栓、空気抜き栓が閉じていることを確認してから、準備（→11ページ）の手順を行なってください。

災害時などにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。

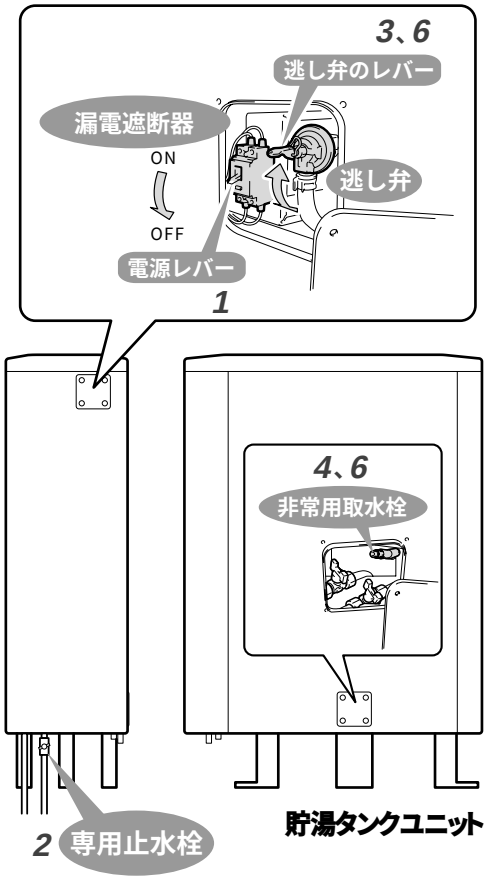
準備するもの

■非常用取水ホース



製品に同梱されています。

■容器（バケツ、たらい）、タオル



1 **貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切（OFF）」にする**

電気の供給を停止します。

2 **専用止水栓を閉じる**

貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

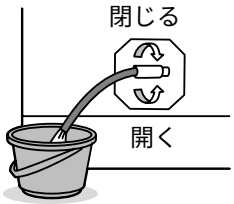
3 **貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる**

タンクへ空気を取り入れます。

4 **非常用取水ホースを非常用取水栓に差し込む**

5 **非常用取水栓を開く**

タンクの水（お湯）を取り出します。
バケツなどで受けます。



⚠ 警告

取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

〈取水が終わったら〉

6 **非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる**

再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、準備（→11ページ）の手順を行なってください。

凍結防止をする

各配管に保温工事がしてあっても、冬季は本体周囲温度が0°C以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

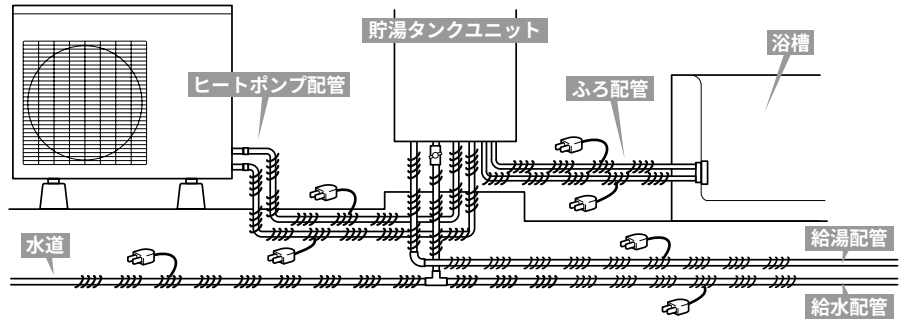
●凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。
使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

⚠注意

凍結防止対策の確認をする

凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

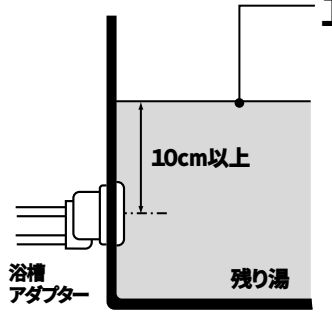


お願い

- 配管が凍結した場合は、専用止水栓（給水配管）を閉じて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

●浴槽の残り湯循環

入浴後、排水せずにおふろのお湯を残しておくと、外気温が3°C以下になったとき自動的に残り湯を循環して凍結防止を行います。



1 入浴後、浴槽の湯を排水せず残しておく

お湯の目安は浴槽アダプターの中心から約10cm以上です。

外気温が約3°C以下になると、凍結防止のため、自動的にふろ配管に残り湯を循環させます。（保温ヒーターは通電しません。）

お知らせ

- ふろ自動運転の入／切に関係なく作動します。ただし、残り湯がない場合は作動しません。
- 「残り湯循環」を行なった次の日は、残り湯を排水してから、湯はりを行なってください。

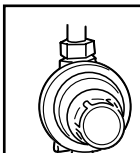
定期点検（有料）

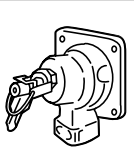
給湯機を少しでも長くお使いいただくために、**3〜4年に1度定期点検（有料）を行なってください。**
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 ご相談窓口」（→35ページ）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

●定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検および消耗部品の交換

●消耗部品 以下の部品は消耗部品です。


減圧弁


逃し弁

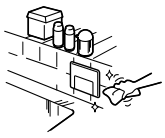
お願い

- 減圧弁、逃し弁の交換時は、当社純正部品をご指定ください。

日常点検とお手入れ

日常のお手入れ：リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。（変形や変色の原因）
- リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。（故障の原因）

日常のお手入れ：浴槽アダプターのお手入れ

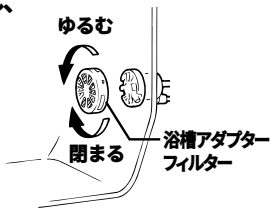
浴槽のお湯を排水した後に行います。

①浴槽アダプターフィルターを外し、水洗いする

歯ブラシなどを使用すると、細部の汚れがおちます。

②元どおりに取付ける

取付けがゆるいと、運転中に外れ、故障の原因になります。



⚠警告

浴槽にお湯がないときは、高温さし湯スイッチを押さない　（やけどの原因）

お願い

- 浴槽アダプターの角部や突起で手、指などにけがをしないようにしてください。

1年に2～3回程度：漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①テストボタンを押す

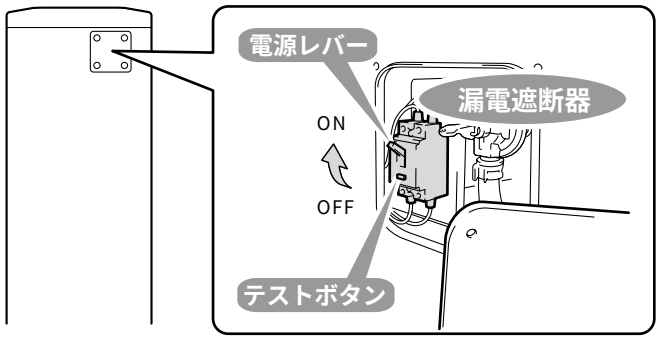
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する　（感電の原因）

貯湯タンクユニット



1年に2～3回程度：逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

動作点検

レバーを上げ、水（お湯）が排水口から出ることを確認する

水（お湯）が出れば正常です。水（お湯）が出ない場合は、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店ご連絡ください。

動作確認後は必ずレバーを下げてください。

⚠警告

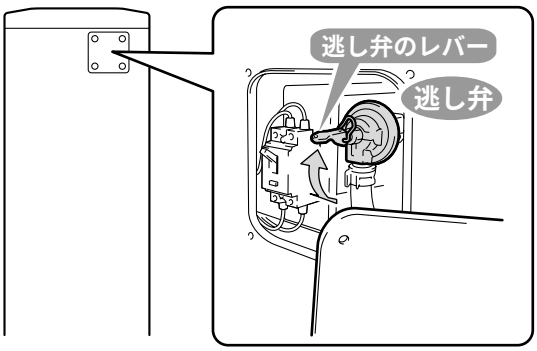
点検時は、配管に手を触れない　（やけどの原因）

水漏れ点検

沸き上げをしていないとき（台所リモコンに「沸増し中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認する

水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。

貯湯タンクユニット



⚠注意

逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

１年に2～3回程度：タンクのお手入れ

①貯湯タンクユニットの排水栓（2箇所）を約1～2分間開く

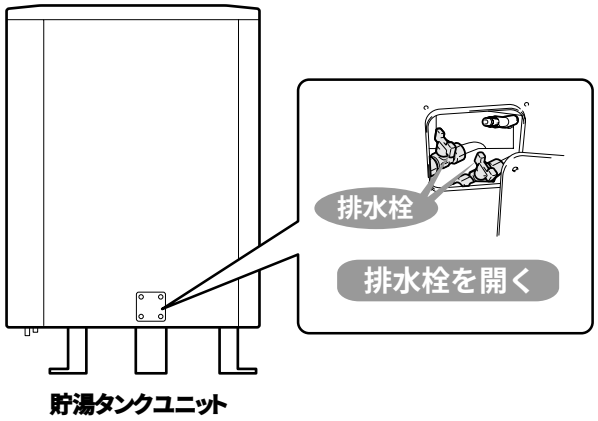
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓（2箇所）を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⚠警告

排水時はお湯に手を触れない　（やけどの原因）



お願い
- 沸き上げ中（台所リモコンに「沸増し中」が表示されているとき）は行わないでください。

１年に2～3回程度：配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

⚠注意

配管を点検する
水漏れが起きた場合、機器の周辺に被害を及ぼすことがあります。

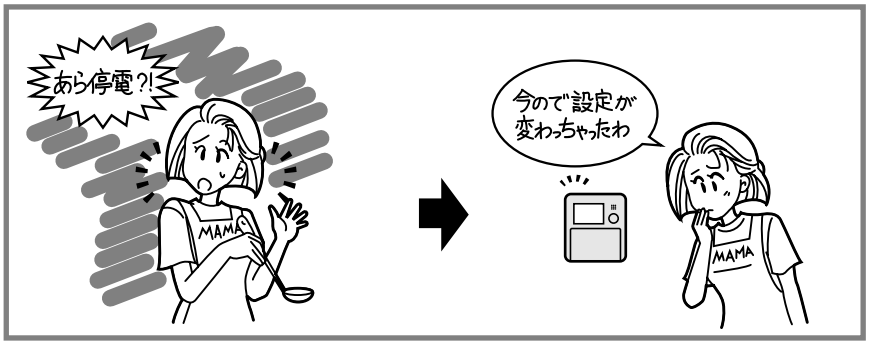
お願い
- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、200Ｖ電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

１年に1回程度：貯湯タンクユニットのお手入れ

①機器内の水をすべて排水する（→25ページ）
②排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返す
③運転の準備をする（→11ページ）

停電したときなど

この給湯機は、約4時間のメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、お客さまが設定した「時刻」や「運転モード」などの設定は失われずにすみます。
ただし、長時間の停電の場合は、初期設定に戻りますので次の処置をしてください。



●長時間停電すると（約4時間以上）

リモコン	機　能	初期設定に戻る	処　置
台所	時刻	「PM12:00」の点滅	**必ず時刻を合わせ直してください。（→12ページ）** 時刻が止まったままで時刻を合わせをしていないと、「夜間沸き上げ」ができません。また、正しい時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。
	電力契約モード	3	ご利用の電力契約モードに設定し直してください。（→13ページ）
	運転モード	おまかせ	ご利用の運転モードに設定し直してください。（→14ページ）
	沸き上げ温度	AU	ご利用の沸き上げ温度に設定し直してください。（→14ページ）
	音量	中	ご利用の音量に設定し直してください。（→15ページ）
	強制沸増	解除	再度、設定し直してください。（→17ページ）
	ふろ自動予約	解除	再度、設定し直してください。（→23ページ）
	休止日数	解除	再度、設定し直してください。（→24ページ）
台所 ふろ	優先権	台所リモコン	ご利用のリモコンに設定し直してください。（→16ページ）
	給湯湯温	42℃	ご利用の給湯湯温に設定し直してください。（→16ページ）
	ふろ自動 （湯はり）	「切」	再度、ふろ自動運転スイッチを「入」にしてください。（→20ページ） **浴槽の湯がさめてしまった場合** いったん、浴槽の湯を全部抜いてから、湯はりを行なってください。（浴槽に湯が残っていると、湯はりを再開したときに設定湯温・水位が保てなくなります。）
ふろ	ふろ湯量	レベル5	ご利用の湯量に設定し直してください。（→19ページ）
	ふろ湯温	42℃	ご利用の湯温に設定し直してください。（→19ページ）
	ふろ自動継続時間	4時間	ご利用の継続時間に設定し直してください。（→21ページ）

●ヒートポンプユニットの沸き上げ（夜間時間帯に停電が発生した場合）

●短時間の場合、停電終了後、沸き上げをはじめます。
●4時間以上続いた場合は、沸き上げできません。

断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に専用止水栓（給水配管）を閉じてください。
工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、専用止水栓（給水配管）を開いて使用を再開してください。

お知らせ ●濁った水で貯湯タンクユニット内の減圧弁（ストレーナー部）が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

故障かな？

こんなときは故障ではありません

■ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。

■沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

■排水口からお湯が出ている
沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

■お湯が白く濁って見える
水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■夜間時間帯になっても、すぐに沸き上げを行わない
給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■台所リモコンから“ 熱いお湯が出ます ”の音声が流れる
台所リモコンの給湯湯温表示が「ーー」から「60℃」に戻る時に、“ 熱いお湯が出ます ”の音声が流れます。

■夜間時間帯にヒートポンプユニットが動いていない
運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。

■気温が低いとき、浴槽アダプターからポンプの運転音がする
凍結防止のため、浴槽の残り湯を循環をします。（→27ページ）

■沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水がでる
ヒートポンプが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでてきます。

■お湯から油がでる、お湯が臭い
初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■給湯温度表示が「ーー」表示になる
給湯とふろ湯はりまたはたし湯を同時に行うと表示されます。給湯温度は、ふろ湯はり中またはたし湯中の温度と同じになります。蛇口（湯水混合栓）で給湯温度を調節してください。

■リモコンの時刻表示がPM12:00で点滅する
停電が原因です。時刻を合わせ直してください。（→30ページ）

リモコンにエラーが表示された場合の処置

■お知らせ表示（故障ではありません。）

ふろ自動ランプが赤色に点滅し、リモコンの時刻表示部にお知らせが表示された場合は、次の処置をしてください。（ブザーでもお知らせします、また一部は音声でもお知らせします。）

表　示	原　　因	処　　置
C01	浴槽の排水栓を開けたまま、ふろ自動運転をしたとき	浴槽の排水栓を閉じてください。
C02	浴槽の残り湯が多いまたは残り湯の温度が低すぎて、設定温度に湯はりできないとき	浴槽の残り湯を減らしてから、ふろ自動運転をしてください。
C03	貯湯タンクユニット内の貯湯量が少ないのに、ふろ自動運転をしたとき	貯湯タンクユニット内湯量を確保してからふろ自動運転をしてください。

●お知らせ表示の解除をする場合は「ふろ自動」スイッチを押します。

■エラー表示（故障です。）

機器に異常が発生した場合は、リモコンのブザーが鳴り時計表示部にエラー表示を点滅表示させ、異常があることをお知らせします。

表　　示	原　　因	処　　置
E01～E36	貯湯タンクユニット関係の故障です。	使用を中止し、エラーコード表示内容を控えていただき、据付工事店（販売店）までご連絡ください。
H01～H30	ヒートポンプユニット関係の故障です。	

故障かな？（つづき）

こんなときは調べてみましょう

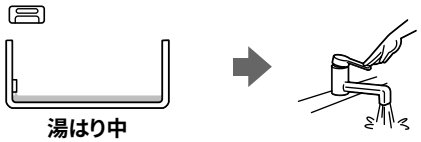
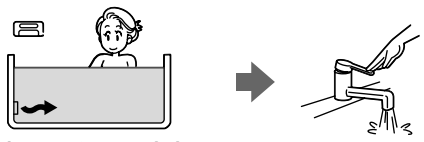
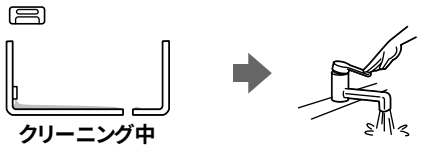
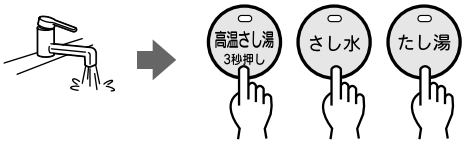
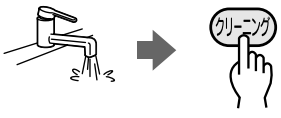
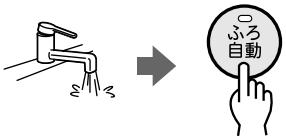
症　状	原　　因	処　　置
リモコンの表示部が点灯しない（電源が入らない）	200V電源ブレーカーが「切（OFF）」になっている	「切（OFF）」になっている場合は、「入（ON）」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切（OFF）」になっている	「切（OFF）」になっている場合は「入（ON）」にしてください。再度「切（OFF）」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯が出ないお湯の出が悪い	専用止水栓（給水配管）が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している/給水圧が低い	水道局へ問い合せてください。
	配管が凍結している	据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯がぬるいお湯が足りない	リモコンの時計表示が点滅している	時刻を設定してください。（→12ページ）
	台所リモコンに「使用再開」が表示している	休止スイッチを押し、沸き上げ停止を取消してください。（→24ページ）
	沸き上げ湯温設定が低い	「深夜のみ」モードで沸き上げ湯温設定が「LO」の場合は「HI」にしてください。（→14ページ）
	沸き上げ運転時以外でも、排水口からお湯（水）がでている	逃し弁の点検を行なってください。（→28ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁または缶体保護弁の故障が考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	強制沸増を利用してください。（→17ページ）
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	強制沸増を利用してください。（→17ページ）
浴槽のお湯があつい	湯はり湯温の設定が高い	湯はり湯温の設定を低くしてください。（→19ページ） またはさし水をしてください。（→22ページ）
	高温さし湯中	高温さし湯を中止してください。（→22ページ）
浴槽のお湯がぬるい	湯はり湯温の設定が低い	湯はり湯温の設定を高くしてください。（→19ページ） または高温さし湯をしてください。（→22ページ）
浴槽のお湯が少ない	湯はり湯量の設定が少ない	湯はり湯量の設定を多くしてください。（→19ページ） またはたし湯をしてください。（→22ページ）
浴槽のお湯が多い	湯はり湯量の設定が多い	湯はり湯量の設定を少なくしてください。（→19ページ）
	浴槽に残湯が多い状態で湯はりをした	浴槽の残湯を排水してから湯はりをしてください。
高温さし湯ができない	湯はり中	湯はりが完了してから高温さし湯を使用してください。（→22ページ）
	貯湯量表示が消え、「残り湯少」表示が点滅している	強制沸増を行なって、湯量を確保してから高温さし湯を使用してください。（→22ページ）
	蛇口でお湯を使ってる	蛇口でお湯を使ってるときは、高温さし湯できません。給湯が終わるまでまってください。（→22ページ）
給湯温度を変更できない	リモコンに優先権がない	浴室リモコンのふろ優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。（→16ページ）
給湯温度がおかしい	湯はり中またはたし湯中	ふろ湯はり中や、ふろ自動のたし湯中は給湯温度が湯はり温度と同じとなります。

こんなときは調べてみましょう

症　状	原　　因	処　　置
ふろ自動スイッチを押しても動作しない	貯湯量表示が消え、「残り湯少」表示が点灯または点滅している	強制沸増を行なって、湯量を確保してからふろ自動スイッチを押してください。
さし水ができない	蛇口でお湯を使ってる	蛇口でお湯を使ってるときは、さし水ができません。給湯が終わるまでまってください。（→22ページ）
クリーニングができない	蛇口でお湯を使ってる	蛇口でお湯を使ってるときは、クリーニングできません。給湯が終わるまでまってください。（→21ページ）
排水口から水が出ている	逃し弁、減圧弁または缶体保護弁の故障です。	逃し弁の点検を行なってください。（→28ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、減圧弁や缶体保護弁の故障、または、逆流防止機能のない湯水混合栓からの回り込みが考えられますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買上げの販売店またはお近くの「三菱電機　修理窓口」（→34ページ）へご相談ください。

安全のための自動制御の内容　-蛇口に行くお湯(給湯)とおふろに行くお湯を同時に使うとき-

「湯はり」中に蛇口でお湯を使うと･･･		やけどしない温度で湯はりと給湯をします。 （湯はり時間は長くなります。）
「高温さし湯・さし水」中に蛇口でお湯を使うと･･･		「高温さし湯・さし水」は一時的にストップし、給湯が終わると再開します。
「クリーニング」中に蛇口でお湯を使うと･･･		「クリーニング」は一時的にストップし、給湯が終わると再開します。
蛇口を使っているときに「高温さし湯・さし水・たし湯」をすると･･･		「高温さし湯・さし水」は使用できません。 「たし湯」は使用できます。
蛇口を使っているときに「クリーニング」をすると･･･		「クリーニング」は使用できません。
蛇口を使っているときに「湯はり」をすると･･･		やけどしない温度で湯はりと給湯をします。 （湯はり時間は長くなります。）

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間…お買上げ日から2年間です。
ただし、熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

■補修用性能部品の保有期間

●この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●**「故障かな？」**（→31ページ）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

1．品名　　：三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機
2．形名　　：側面カバー表示してあります。
3．お買上げ日：年月日
4．故障の状況：できるだけ具体的に
5．お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

この製品はＢＬ認定品です。

ＢＬ認定は、財団法人ベターリビングが住宅設備機器のなかでも、特に優れた商品に与えるもので、以下の特典があります。

- 無料保証期間が2年間です。ただし、熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。
- 割増融資が受けられます。
住宅新築時に、この温水器と一定の条件を満たす冷暖房機器を同時設置すると150万円の割増融資が受けられます。

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは → 修理窓口 へ
その他のお問合わせは → ご相談窓口 へ

修理窓口　電話受付：365日24時間

北海道地区

札　幌	(011) 890-7520	札幌市厚別区大谷地東 2-1-18
旭　川	(0166) 26-5580	旭川市曙1条 8-1-4
北　見	(0157) 25-7045	北見市柏陽町 577-60
釧　路	(0154) 24-1355	釧路市喜多町 2-25
帯　広	(0155) 35-3111	帯広市西13条北 4-1-13
室　蘭	(0143) 45-5781	室蘭市東町 1-17-19
苫小牧	(0144) 55-1114	苫小牧市明野新町 2-1-18
小　樽	(0134) 33-3380	小樽市緑 2-28-22
函　館	(0138) 49-0345	函館市西桔梗町 589-57

東北地区

青　森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
弘　前	(0172) 32-6535	弘前市大字青山 4-20-3
八　戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
む　つ	(0175) 22-3277	むつ市横迎町 2-11-7
盛　岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水　沢	(0197) 25-4511	水沢市卸町 2-3
釜　石	(0193) 23-4611	釜石市定内町 3-10-1
仙　台	(022) 238-1773	仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼	(0226) 23-8485	気仙沼市田中前 2-9-2
石　巻	(0225) 95-9111	石巻市門脇字四番谷地 16-268
古　川	(0229) 24-3595	古川市米袋字大窪 25-1
秋　田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横　手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大　館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山　形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
酒　田	(0234) 35-8230	酒田市上安町 1-11-11
鶴　岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
米　沢	(0238) 37-5554	米沢市中田町 742-8
福　島	(024) 534-7123	福島市御山字田中 58
郡　山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会　津	(0242) 27-4426	会津若松市天寧寺町 3-7
原　町	(0244) 24-2842	原町市桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

K00C

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県

フロントセンター東京　電話 (03) 3424-1111
FAX (03) 3424-1115
東京都世田谷区池尻 3-10-3

中国・四国地区

広島県・山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

中・四国CSセンター　電話 (082) 890-6365
FAX (082) 890-6367
広島市南区大洲 4-3-26

甲信越地区

新　潟 (025) 274-9165
新潟市竹尾卸新町 752-9

長　岡 (0258) 23-3323
長岡市南陽 1-1118-1

上　越 (0255) 24-1160
上越市春日山町 3-6-3

長　野 (026) 221-3232
長野市稲葉 904

松　本 (0263) 27-2461
松本市芳川野溝 531

飯　田 (0265) 52-5396
飯田市上郷別府 3367-1

山　梨 (055) 222-2711
甲府市下飯田 1-4-11

九州地区

福　岡 (092) 412-5333
福岡市博多区豊 1-9-13

北九州 (093) 653-1231
北九州市八幡東区昭和 2-5-25

久留米 (0942) 45-2661
久留米市東合川新町 7-20

佐　賀 (0952) 31-4189
佐賀市鍋島町大字八戸溝348-2

唐　津 (0955) 72-1337
唐津市東城内 6-50

長　崎 (095) 843-0622
長崎市大橋町 23-4

佐世保 (0956) 30-7740
佐世保市木原町 155-1

熊　本 (096) 380-0211
熊本市石原町 326-1

八　代 (0965) 33-5173
八代市緑町 13-1

大　分 (097) 558-8803
大分市向原西 1-8-1

宮　崎 (0985) 56-4900
宮崎市大字赤江字飛江田150-1

延　岡 (0982) 21-3540
延岡市惣領町 25-5

鹿児島 (099) 260-2421
鹿児島市卸本町 7-17

沖　縄 (098) 898-3333
宜野湾市大山 7-12-1

東海・北陸地区

愛知県

フロントセンター名古屋　電話 (052) 721-0131
FAX (052) 721-7268
名古屋市東区矢田南5-1-14

沼　津 (0559) 22-7111
沼津市若葉町 20-1

静　岡 (054) 284-0821
静岡市中原 913

浜　松 (053) 463-8455
浜松市上西町 62-5

岐　阜 (058) 275-0909
岐阜市中鶉 3-24

中津川 (0573) 65-6646
中津川市駒場字町裏 526-2

高　山 (0577) 33-7410
高山市冬頭町 981-5

四日市 (0593) 47-0621
四日市市日永 5-7-16

松　阪 (0598) 29-7664
松阪市久保町字猿楽 682-7

富　山 (0766) 56-0121
射水郡小杉町青井谷 1-1-1

金　沢 (076) 252-8133
金沢市小坂町西 97

福　井 (0776) 22-6340
福井市問屋町 1-19

関西地区

大阪府・奈良県・和歌山県（田辺・新宮を除く）
兵庫県（阪神・淡路地区）・**京都府**（畿北を除く）

フロントセンター関西　電話 (06) 6454-3901
FAX (06) 6454-3900
大阪市北区大淀中 1-4-13

滋　賀 (077) 552-4058
栗太郡栗東町安養寺 2-4-25

畿　北 (0773) 23-5960
福知山市厚中町 61

姫　路 (0792) 94-3383
姫路市手柄 98

豊　岡 (0796) 24-6360
豊岡市中陰 376

田　辺 (0739) 23-1109
田辺市稲成町字西沖代79-7

新　宮 (0735) 22-2495
新宮市池田 3-1-31

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、取扱い方法のお問合わせは
三菱電機お客さま相談センター　365日 24時間
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■全国どこからでも おかけいただけるフリーダイヤル
0120-139-365（通話料金無料）
いつも サンキュー　365日
■通常電話番号（携帯電話・PHS対応）03-3414-9655
■FAX 03-3413-4049

当社家電品についてのご意見やご要望は
地区お客さま相談室
（月～金曜日　9：00～17：00　祝祭日を除く）

北海道 (011) 893-1313　〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東 2-1-11
東　北 (022) 231-8282　〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-2-33
首都圏 (03) 3414-9722　〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
中　部 (052) 972-7222　〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-4-3
北　陸 (076) 252-1356　〒920-0811 金沢市小坂町西 81
関　西 (06) 6451-3611　〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-4-13
中　国 (082) 278-1322　〒733-0833 広島市西区商工センター 6-2-17
四　国 (087) 879-1190　〒761-1705 香川郡香川町大字川東下 717-1
九　州 (092) 571-2211　〒816-0088 福岡市博多区板付 4-6-35

K00C

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

仕様

形名	セット	SRT-HP711
	ヒートポンプユニット	SRT-HP711HPU
	貯湯タンクユニット	SRT-HP711TU
適用電力制度		時間帯別電灯　通電制御型
種類（設置場所）		屋外型
タンク容量		300L
定格電圧・周波数		単相　200V・50/60Hz
ヒートポンプユニット	定格加熱能力※2 ※3	4.5kW
	定格消費電力※3	1.3kW
	夏期加熱能力／消費電力※2 ※4	4.5kW／1.2kW
	冬期加熱能力／消費電力※2 ※5	4.5kW／1.4kW
	冬期高温加熱能力／消費電力※1 ※2 ※6	4.5kW／1.8kW
風呂保温消費電力	保温ヒーター	1.0kW
	循環ポンプ	0.1kW
凍結防止ヒーター		0.1kW（冬期のみ作動）
最大電流		25A
沸き上げ温度		約65℃～90℃
寸法	ヒートポンプユニット	高さ　670mm × 幅　810mm × 奥行き 320mm
	貯湯タンクユニット	高さ 1635mm × 幅 1090mm × 奥行き 450mm
質量	ヒートポンプユニット	62kg
	貯湯タンクユニット	約95kg（満水時約395kg）
運転音※7		45dB
最大使用圧力		170kPa
冷媒名（封入量）		CO_2（0.63kg）
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁
リモコン（別売）	台所リモコン	RMC-711K（外形寸法 ： 縦 140mm　横 125mm　厚さ 20mm）
	浴室リモコン	RMC-711B（外形寸法 ： 縦 100mm　横 200mm　厚さ 31mm）

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※4 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※6 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※7 定格条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

※3、4、5、6、7 について
●外気温：理科年表、月別平年気温・湿度（1961年から1990年までの平均値）
●水　温：（社）ソーラーシステム振興協会「ソーラーシステムの設計基準に関する調査研究」（昭和57年9月）
●いずれも東京・大阪の季節別環境条件です。

製品形名〈製造番号〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
SRT-HP711〈　　〉	
お買上げ日	
年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の給湯機の点検を!

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●貯湯タンクユニットの設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなくなる。 ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800
電話番号　0276-52-1111（代表）

148017-0080〈2001-06〉
T964Z044H01